京城日報

一日夕刊
定價 本紙一部金二錢 一ヶ月金六拾錢
廣告料 五號活字一行金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

時間表（行南）（行北）[illegible]

獨墺の對米通牒

獨逸の實際行動こそ見物なれ

獨墺兩國は二十八日米國に通牒を送つて曰く『抵抗せざる若くは逃去せざる船舶は之を無警告にて擊沈せず唯武備を有する船舶は之を抵抗性を帶る船舶と認む』と該通牒には潜航艇長をして相手方の船舶が武備を有するや否を充分確めしむべしと記載しあるも潜航艇長が如何にして之れを確め得べきやは流石にランシング氏も大に之れを疑問としつゝあり要するに三月一日よりの獨逸の實際的行動こそ注意に値すべし（紐育）

獨逸の商船擊沈命令

獨逸は各中立港に遁竄せる自國軍艦に對し脫走の上列國商船を擊沈すべき事を命令せる結果海上の危險一層增加せり（東京電報）

獨軍茲にも一大活動

シャンペーニュに於て

獨軍はシャンペーニュに於ても一大活動を爲し前日佛軍に奪取されたるナヅラン平野一帶を占領したり此地點はヴエルダンより四十哩巴里より百哩なり（紐育電報）

ヴエルダン北方戰倍猛烈

巴里電報に曰くヴエルダンの北方に於ける砲戰は倍々猛烈の度を增しミユーゼの西方及びドーモンの村落に於ける敵の攻擊は擊退せられたり（紐育電報）

佛艦沈沒

佛國補助巡洋艦プロベンス（四千三百六十五噸）は二月二十六日地中海に於て沈沒し乘組員中約八百七十名は救助されたり（紐育電報）

邦船復臨檢さる

近海郵船鎌倉丸も上海沖にて英國假裝巡洋艦に臨檢されたりとの報其筋に到着せり（東京電報）

ジヨルダン氏大使か

支那駐剳英國公使ジヨルダン氏は豫定任期滿了したるを以て不日更迭を見るべく同氏は新に大使に陞任駐日英大使の後を襲ふべく内定せりと（東京電報）

滿蒙領事館期設

滿蒙各地に開設準備中なりし赤峰領事館及び鄭家屯、農安、掏鹿、海龍、通化の各領事館分館は六月一日より開館するに決せりと（東京電報）

立花警務總長

立花總長は一日午後二時光州著、官民多數の出迎へ盛にして同夜北村樓にて官民有志の歡迎會あり三日木浦に至るべし（光州特電）

日滿鐵道聯絡會期

日滿鐵道連絡會議は四月十四日より開會に決せり（東京電報）

大隈首相靜養

大隈首相は議會終了せるを以て二日葉山御用邸に伺候の上國府津の別莊に靜養すべし（東京電報）

鑛業登錄規則公布に就て

注意す可き事項

今般公布の鑛業登錄規則は鑛業令と共に大正五年四月一日より施行せらるゝこととなれり登錄は朝鮮總督府に於て受附の順序に依り鑛業原簿に記入するものにして其の原簿上に於ける權利狀態の明確を期せむが爲鑛業登錄規則は登錄申請に要する種々の條件及び登錄方法等を規定したるを以て若し登錄申請書が規定の條件に合せざる等の爲不受理せらるゝときは同一鑛業權又は抵當權の取得に付順位を爭ふ必要ある場合に際し第三者に優先せらるゝ虞あり且登錄期限の定めある鑛業の出願又は鑛區の訂正、增減合併若は分割の出願の許可に因る鑛業權の設定若は變更の登錄申請の如きは失期の結果前可の効力を失ふことあるべきを以て登錄を申請せむとする者は鑛業登錄規則に就き豫め登錄手續を知るの要あり

▲登錄事項　府令に依れば登錄事項は鑛業出願の許可、鑛區の訂正、併合若は分割出願の許可、鑛業權の讓渡又は抵當權の設定に限り且登錄手續等に付ては詳細の規定なかりしが新令は左の如く增加し且登錄申請の方式條件等細微に亘り規定せり

(一)鑛業權の設定　(イ)新規許可に因る設定(ロ)鑛區併合許可に因る設定(ハ)鑛區分割許可に因る設定
(二)鑛業權の變更　(イ)鑛區の訂正許可に因る變更(ロ)鑛區の增區又は增減區許可に因る變更(ハ)鑛區の減區許可に因る變更
(三)鑛業權の移轉　(イ)相續に因る移轉(ロ)相續以外の原因に因る移轉
(四)鑛業權の消滅　(イ)廢業に因る消滅(ロ)取消處分に因る消滅(ハ)鑛區の分割又は合併に因る分割前の鑛業權の消滅
(五)抵當權の設定　(イ)新規設定(ロ)朝鮮鑛業令第二十一條に基き爲したる承諾及協定に因る設定
(六)抵當權の變更　(七)抵當權の移轉　(八)抵當權の消滅
(九)鑛業權又は抵當權の處分制限　(イ)差押(ロ)民事訴訟法に依る競賣申立(ハ)假差押(ニ)假處分(ホ)國稅滯納處分
(十)民法第三百七十八條第三百七十九條又は朝鮮鑛業令第十八條に依る共同鑛業權者の脫退
(十一)登錄の更正變更又は抹消

▲登錄稅　登錄に付ては舊令は手數料を納付する定めなりしが新令は之を登錄稅に改め收入印紙を登錄申請書に貼付して納むべきものとせり但し其の稅額等は近日登錄稅令の改正公布を俟て知るべし

▲請求手數料　(イ)鑛業原簿の謄本又は抄本の交付請求用紙每一枚一圓(ロ)鑛區圖の謄本の交付圖面每十萬坪又は其の端數[illegible](ハ)鑛業原簿又は鑛區圖の閱覽每回一時間五十錢

▲登錄申請方　登錄は當事者雙方出頭し又は書留郵便を以て朝鮮總督府に申請するを得べく書留郵便を以て差出す場合に於ては其の郵便物の表面に鑛業登錄申請なることを朱書すべきものとす但し成るべく當事者出頭するを利とす申請書が方式に適せざるときは申請擔當官吏の指示に依り之を補正して速に登錄を受くる便利あるも郵便にて申請するときは此の便利を缺くが爲登錄申請書の補正に時日を空消し不慮の損失を招くことあるべし

▲印鑑提出　鑛業權者若は抵當權者又は其代表者の印鑑は總督府に備ふることゝなり登錄申請書に押捺したる右權利者の印影も印鑑と符合せざるときは其の登錄申請を受理せざることゝ爲せる結果鑛業權又は抵當權の設定若は移轉の登錄申請を爲す場合の印鑑提出に關し鑛業登錄規則第十六條に詳細に規定を設けたり又登錄規則第八十五條を以て同規則施行前の鑛業權者又は抵當權者は既に印鑑を提出したると否とを問はず同規則施行後大正五年五月迄の內に印鑑を朝鮮總督府に提出すべく其の場合に於ては其の申請書に印鑑を添附すべき旨を定めたるを以て大正五年四月以前の鑛業權者又は抵當權者は四月に入り速に印鑑を提出し置くときは他日登錄申請に際し印鑑の證明を得添附する等の煩を免るべし尚此の印鑑は鑛業登錄規則第八十五條に依り提出する旨副申するを可とす

▲新令施行前高嶺土又は硅砂の採取許可を得たる者　新令施行前高嶺土又は硅砂の採取許可を得たる者は新令施行の日より六十日內に許可書及び許可圖面を添へ鑛業權設定の登錄を申請せざるべからず

一月經濟概況

迎春後の輸移出界は內地市場に於ける在米の大堆積と米價の不勢とにて鮮米の取引を不引合ならしめ手持筋の大部は貪入持閤の態度を採りたるを以て貿易額は前月に比し三百八十一萬圓を減じ輸移入は舊正月を控へ且つ物價昇騰の氣配にて晒金巾、絹織物及び石油の增荷を促したるも生金巾、吹、繩及び莚、淸酒等の減退にて同百三萬圓を減じたるが前年同月に比すれば輸移出は六十五萬圓輸移入は二百二十萬圓の增額を呈し居れり而して金融界は輸移入品の荷受及び舊歲末決濟資金にて小繁なりしも米穀の取引一頓挫の爲め大口貸金の移動なく民間貸出は前年同月に比すれば三百九十八萬圓を孰れも增加したり、本月に於ける預金貸出の增減以上の如きに加へ地稅の納入にて國庫金の內地回金多額なりし爲め舊多末舊有の發行を呈したる朝鮮銀行券は逐日回收せられ月末に於ては三千百十七萬圓を示し前月末に比し三百二十一萬圓の減少となりたり

林務主任會同（第三日）

各道及び營林廠林務主任會同第三日は一日午前十時より總督府第二會議室に開會、出席者前日の如く石塚長官統裁の下に日程に入り午前午後とも諮問事項の答申ありて三時半散會せり

研修會二例會（同）

總督府內職員研修會は既記の如く一日午前八時三十分より總督府第二會議室に開催、甲班判任官二百數十名は勿論寺內總督以下各部長官、局長、高等官等出席し、服部局長の「[illegible]の說」の講演ありて十時散會せり

定例長官會議（定例長官）

會議は二十九日開催の筈なりしも林務主任會同の爲め延期となり一日午前十時より總督府第一會議室に開催寺內總督以下各部長官局長等出席し通常政務に就き協議打合ありて正午散會したり

農業技術員講習會（京畿）

道廳にては一日より一週間管內農業技術員生徒二十七名を召集し廳內會議室に於て農事講習會を催ふす由講師としては向坂野木月岡久次米高見の各技師及び木上技手出演の筈

屠獸講習會修業式（京畿）

道警務部にては二月廿日より管內憲兵分遣所及び警察署より講習員を集めて屠獸に關する講習會を開催したるが愈々一日を以て修了せるを以て午後一時會員二十三人に對する修業式を元京城憲兵隊第二分隊廳舍にて擧行したり

參謀本部員視察

參謀本部課長工兵大佐曾田孝一郞氏は滿洲方面の視察を終へ一日夜南大門通過歸東す

警察官異動

二月二十九日附を以て左の通り發令ありたり

依願免本官（各通）
朝鮮總督府警視　道野能通
同　原龍橋
同　酒本勇四郎
同　崔基南
朝鮮總督府警視　崔恭南

陞敍高等官六等
朝鮮總督府警部　細野權藏
同　寺島才二郎
同　林和一
同　林喜鼎
同　張憲根
同　安慶善

任朝鮮總督府警視敍高等官八等　細野權藏
補咸興警察署長　朝鮮總督府警視　林和一
補木浦警察署長
補群山警察署長　朝鮮總督府警視　寺島才二郎

平壤

▲暖氣と農作　三宅道技師の談に曰く暖氣の爲め麥の春伸び及び害蟲の續發を云々する者あるが必らずしも然らず本年朝鮮が暖たかなりと云ふもコレを內地に比すれば寒暖の差同日の談に非ず實際目下の麥作は至極良好なり又害蟲の續發あらば益蟲の蕃殖も正比例すべく暖たかなりとて害蟲增殖すとは斷せられず云々

▲肺炎患者發生　一昨年來平壤府中に於て流行せし惡性感冒は最近漸く跡を絕ちし模樣なるが氣溫不順の爲め市中大小人の間に肺炎の發生少なからず一般の注意肝要なりと某醫師は語れり

▲安州地主會　安州郡にては從來より農事の改良に努めつゝありしが今回之れを安州郡地主會なる團體設けて農事の改良を企圖する由

▲記者團例會　平壤記者團の例會は二十九日午後七時より旅亭常盤に於て開催し諸問題に付懇談せしが三月よりの幹事は西鮮日報の中丸好太郎氏當番

寺洞

▲小學校增築　平安南道寺洞鑛業所學校組合は本道中有數の組合にして其の規模を有す[illegible]名にして本年度歲入出共五千六百三十八圓に達したり內經常費二千五百八十六圓臨時費三千五十二圓にして臨時費は校舍增築其他の設備に充てたるが道は來年度より學級を擴張して尋常科を收容する方針に基く者なり其結果は從來の三學級は六學年に延長し二學級編成は三學級となり職員も之に準じて訓導一名を增加して訓導二名囑託敎員一名となす可く生徒數も又現在在籍兒童數八十名に對し新入學生約二十名五六學年生徒十餘名の轉校等に依つて優に百十五六名に達す可き見込なりと

鎭南浦

▲商工校延期　南浦中村組の寄附せし六萬圓を基幹とし之れに國費地方費の補助を以て經營せんとする鎭南浦簡易商工學校（前報實業學校とせしは誤り）は商科及び工科の二科を置き工科には造家及び指物を敎授する事に決定校舍も略某私立學校々舍を讓り受け相當修理を加ふる事となり居れど肝腎の中村組の一萬圓が大正五年及び六年の二箇年に分ち四回に納金せんとするものに付若し大正五年より開校するとせば差向き利子收入に大不足あり尤も此件は當局より中村組に交涉せば或は右の如き懸念なく解決すべしとするも目下道廳に於て茲一年位開校を延期するも今少し基金の寄附を有力家に求め完全なる學校としては如何との議もある如く結局大正六年まで延期とならずやと思はる

▲大同江漁業　從來南浦漁業者の大同江に於ける漁獲は資金の關係上頗る振はざりしが昨年久原精煉所より舊稅關濱迄の間にて熊本某なる漁業家試驗的に鰻漁を行ひし所一萬圓餘の水揚げありたるより本年は南浦水產會社も出來得る限り資金の貸附をなし大同江漁業の盛況を企圖する筈なれば其の水揚も昨年より激增すべし

光州

▲屠夫講習會　全南道廳は牛皮改良の爲め三月七日より十日まで羅州、十一日より十五日まで木浦府、十七日より二十日まで[illegible]、二十三日より二十七日まで[illegible]に於て屠夫の講習會を開催し乾皮製造技術の[illegible]

▲光州學校增築　光州學校組合の歲入は[illegible]の收入增加により[illegible]約一千五百圓の資源を得れば來年度に於て其の筋の補助金を得學校々舍の增築を爲すべく新學期に至らば六十餘名の入學兒童あり愈々校舍の狹隘を告ぐるに至らんと

□淸津より（二）　孤村生

百聞は一見に如かず、羅南も來て見て驚き申した、何れは山村僻陬の地、不便不都合は素より覺悟の上ながら出づるに一臺の腕車なく、宿るには只々一軒の宿らしき宿なきには閉口の外なし。二十三日徹宵の一日を羅南の客舍に過したる記者は日程と便船との都合に依り、飯塚少佐と袂を別ちて北行を企つ、健康は勝れず而も淋しき一人旅、行路の萬象寂々として連山の白雪又皚々たり、行く程に進む程に淸會鐵道豫定線を左曲右折しつゝ、黃昏頃蒼坪に安着したり。蒼坪は彼の淸會鐵道中の難工事茂山嶺下に在り、鐵道工事開始迄は谷間の一寒村に過ぎざりしが、今や多數の內鮮人及び支那人入込み、現在七百有餘を算す、發電所あり、旅館あり、旅亭あり、四十人に餘る紅裙も亦住めりと聞く、恰かも甘きに集る蟻群の如し。某館と云ふ此地第一流の茅屋旅館に骨を休めたれど、熱度下降せず、此儘强て旅程を續けんには後日の祟り恐るべきを慮り、そこ〳〵にして淸津に引還したり。淸津には豫て稻野府尹、岡本北鮮日報社長、四元商業會議所會頭其他有志諸賢の高配により、光淸館と云ふ旅館に止宿し、爰に初めて宿屋らしき宿屋に宿り、人間らしき氣分を味ひ蘇生の思を爲しぬ、之より暫時此處に本據を据ゑ視察の豫定也。

▲全南地主會　本道管內の大小地主を網羅し會長に佐藤第一部長を推戴したる全南地主會は來る四月中を以て第三回總會を光州に開催し優良種普及、小作人獎勵等に關し會議を催すべし

▲長城製紙傳習　古來製紙を以て有名なる長城郡は三月上旬より例年の如く傳習を開始すべく其の敎師として某氏を內地より招きたるが同人は同所に移住し永住の目的にて將來鮮人を化育すべしと

大邱

▲麥作と民心　大邱附近農民等の語る所に依れば本年の麥作は昨冬來嚴寒なき爲め害を被るが如きことなきも麥作に取りて稀有なく例年に比し暖氣なるを以て今後害蟲發生其他の障害を受くることなきやと憂慮し居る向もあらず

▲高等普通學校　今回總督府直營に係る大邱高等普通學校は協議の末學校を假校舍として來る四月より開校の筈なるが校長は從來京城高等普通學校敎授たりし文學士石坂亨氏三月上旬を以て赴任する事に內定す

▲蠶業講習所入所生　既報の如く朝鮮總督府勸業模範場女子蠶業講習所に於ける來る新學期よりの入所生は慶北道長官の推薦に係るものゝ慶山の普玉分及び大邱の徐福珠以上兩名なるが講習所よりは既に來る三月十一日迄に到著する樣出發すべき旨通牒せり

人事消息

▲稅田谷五郞氏（關稅課技師）　內地へ出張中の處此程歸任
▲弓削幸太郞氏（學務課長）　二月二十九日出發東京に赴く筈なりしも三月四日に延期す
▲吉原三郞氏（東拓理事）　風邪の氣味にて目下引籠中

香南雪北

慶南沿岸の移住漁民村の近況を聞くに移住三箇年以上に及んだものは好成績を揚げつゝあるけれど▲其他のものは大概不成績であるとの事である▲其の理由は移住當時の一箇年は所轄縣又は其他からの補助を受けるけれど▲翌年から其等の事がなくなる爲め豫期の利益を收むる事が出來ず生活にも困難して居るとは遺憾である▲朝鮮の有利事業中には空しく放棄されて居るものが澤山ある▲第一棉油などは頗る有望である昨年の棉實は實に七千四百萬斤に達したのだがそれを油に製造すると九十九萬四千餘圓に達すると云ふ▲實際の事業家は徒らに鑛山騷ぎなどをせず斯る方面にもチト眼を晒して貰ひたいものだ▲北鮮の朝鮮人が何うしたものか此頃明太を食ふ事が少なくなつた相な▲其の理由は漁業の進步と共に各種の食用魚類が澤山になつた▲と同時に油の多い魚より油の少ない魚が好いとか身體の爲になるとか云ひ出した結果だと云ふ▲何にしろ明太の需要が減つて來た事は事實らしいが減つたと云つて悲觀する必要はない▲寧ろ明太の利用は增して來て有望事業としては明太より肝油が取れる▲其の肝油が鱈より取れるのよりも上等だと云ふから向後之等の製造業者も出來ようと云ふ▲而うすれば却て多漁を必要とする譯だ

▲廣告▼

商業登記公告

株式會社輪業商會ハ大正五年貳月拾日株主總會ノ決議ニ依リ解散シ同月日京城府南大門通參丁目拾七番地田忠吉淸算人ニ選任セラレタリ
右大正五年貳月貳拾四日登記

韓興煙草合名會社ハ大正五年貳月拾六日總社員ノ同意ニ依リ解散シ同月貳拾七日京城府三角町七拾七番地崔建植淸算人ニ選任セラレタリ
右大正五年貳月貳拾八日登記

京城地方法院

女生徒募集（新學期四月十日開始）

卒業生の資格は官公立高等女學校に等しく申込順により許可す。口頭或は書面にて請求せば入學案內を呈す
文部省指定　下關梅光女學院

告

京城府安國洞二六番地所在家屋（現京城府鍾路借居家屋）は本人の所有であるが風說に依れば他人より貸用する爲め他と交涉なりと云ふ內外國人は本所有者にあらざる者に欺されて後悔する事がなきを希望する
京城府寬勳洞一九八番地　李復永告

第貳回決算公告

○貸借對照表

資產

科目	金額
未拂込資本金	貳五〇、〇〇〇、〇〇
支店資金	壹貳、〇〇〇、〇〇
有價證券	六四六、貳八八、貳八
輸入部勘定	貳四〇、六壹四、壹八
輸出部勘定	五〇、〇四七、壹六
米部勘定	壹七、四參七、五八
受取手形	壹五七、貳〇六、壹參
振替貯金	四、九五壹、壹〇
銀行勘定	壹七、壹壹〇、參九
別段預金	五參、九五〇、〇〇
定期預金	四六、〇〇〇、〇〇
假拂金	壹、〇九參、九九
同友會勘定	八壹七、五壹
不動產	壹壹〇、參壹貳、〇五
什器	貳、參七貳、〇〇
現金在高	壹、九七壹、六八
合計	壹、六壹貳、壹七壹、〇五

負債

科目	金額
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇
積立金	貳、五〇〇、〇〇
支拂手形	六六八、〇〇〇、〇〇
割引手形	參八貳、貳參四、四六
未拂金	壹四、五〇〇、〇〇
恩給基金	壹、九八〇、〇〇
職員積立金	四四四、〇〇
雜勘定	八四八、七九
前期繰越金	五貳壹、貳五
純益金	參九、壹四貳、五五
合計	壹、六壹貳、壹七壹、〇五

○損益計算及利益配當
一金八萬九千八百五拾八圓拾四錢　當期總益金
一金五萬〇七百拾五圓五拾九錢　當期總損金
差引金參萬九千百四拾貳圓五拾五錢　當期純益金
外ニ
金五百貳拾壹圓貳拾五錢　前期繰越金
合計金參萬九千六百六拾參圓八拾錢
此配當
金貳千五百圓也　積立金
金七千五百圓也　別途積立金
金七千五百圓也　滯貸準備積立金
金壹千圓也　恩給基金
金四千圓也　賞與
金壹萬五千圓也（年八分）　配當金
金貳千百六拾參圓八拾錢也　後期繰越金
右之通候也
大正五年二月
株式會社共益社

佐野洋行

寫眞器械
材料及藥品
直輸入商
コロタイプ印刷
大連市大山通
光明洋行寫眞部改め
佐野洋行

●山脇船長の名譽
東伏見宮殿下、有功賞を親授し給ふ

入坂丸遭難の際に於ける山脇船長の態度は一般船員の模範なりとし一日午後二時東伏見宮殿下に於かせられては特に同船長を召され海員掖濟會有功賞を親授されたる上同船長より親しく當時の遭難狀況を聞こし召されたり(東京電報)

●勅選議員亦危し
大隈首相襲擊爆彈事件の餘波

大隈首相襲擊爆彈事件被告の審問進捗と共に餘波は意外の邊に及び某代議士及び某勅選議員等檢擧せらるべしとの說專らなり(東京電報)

●風伯荒る
漁船百隻行衛不明

二十八、九兩日に於ける各地大暴風の爲め遭難せる漁船百餘隻に及び行衛不明五百餘名に達したり(東京電報)

●英國の戰略は
金で捷つ
つもりらしい 大規模の活動

露國敗戰より戰國の危險を冒し露都に出で西比利亞を經て滿洲に出でし久原鑛業所倫敦支店長伊藤市十郞氏は今回夫人令嬢等の許の家族を引連れて來京に旅行の途次二十九日當地に於ての談片に曰く、

私共はこれから露都より瑞典、諾威を經由して行かうと思ふが意外の時日を要する事と不慮の危險に遭遇する事は豫め免がれぬ所と覺悟して居る獨逸が各國に傑出した偉大なる强力には異態の外はないが之れに反して英國人の自由主義閑然主義には驚かざるを得ぬ吾人が日常之れを目擊して情無く思ふ事許りである、徵兵令を今更議會に擔出して何んの彼のと騷ぎ立て見たり又甚だしきに至りては一般の人心が

▲假令敗戰して カイゼルの統下になるも吾等には何等感憤も不滿もない、吾人は正しき神の配下に働くもの故罪惡なる戰爭には如何にしても携はることが能ぬと公然と高唱し而も堂々と新聞紙上に掲載したり團體まで組織して之れを忌避するに至つては到底

▲日本人の夢想 だに及ばない所である、同盟國として實に吾人は腑甲斐なく思ふ併しながら絕大なる富力は能く軍需品の製作に惜氣もなく巨財を投資して居る程度は驚く程旺んなもので現に

▲民間の機械工 場を買收して政府直營して居るもの二千七百餘を算し尙盛んに買收に力を注いで居る此等の工場は決して日本あたりの如き矮少のものでないから一工場の買收資金も甚大のものであるが此の工場代價金丈でも驚くべき巨數を示して居るから其他は推して知るべきである經濟狀態は戰亂のため物價騰貴各事業界共好況で

▲何處に戰か有 かの觀あり だ元來英國人は理性の極く强い民族であるから最終の勝利を得るため一つの手段として安逸に見せかけて居るかも知れぬ兎に角油斷のならぬ點は往々見受けられる昨年

▲獨逸の飛行船 が英京倫敦の空上に二回突如として影を現はした時は寧ろ痛快だつた如何に自由主義に醉うて居る英國民も周章狼狽し急遽屋上に金網を張つて防禦策を講じると云ふ大騷動で眞底から目を覩き返したのである、而して其時の飛行船は長が千尺以上のものであつたさうだが地上から肉眼で見る時は約

▲二尺位にしか 見えぬ以て如何に高空に飛翔して居るかと想像される次第で此の飛行船の航行は夜間に限る夜間も較々たる月夜には絕對飛ばさぬとかそれは形態が長大であるから操縱が飛行機の如く

▲輕妙に行かぬ 所から萬一飛行機に襲はれ爆彈の投下でもされる時は命中は的確だからだとの事である(釜山支局)

●卅二點!! 現役兵に劣らぬ成績!
春寒の朝風の中に中學生の實彈射擊

京城中學校五年生の實彈射擊演習は三月一日午前九時から龍山步兵聯隊の射擊場で行はれた、此日南山嶺は外套の襟に泌み入るやうであつたけれ共朝の日光は

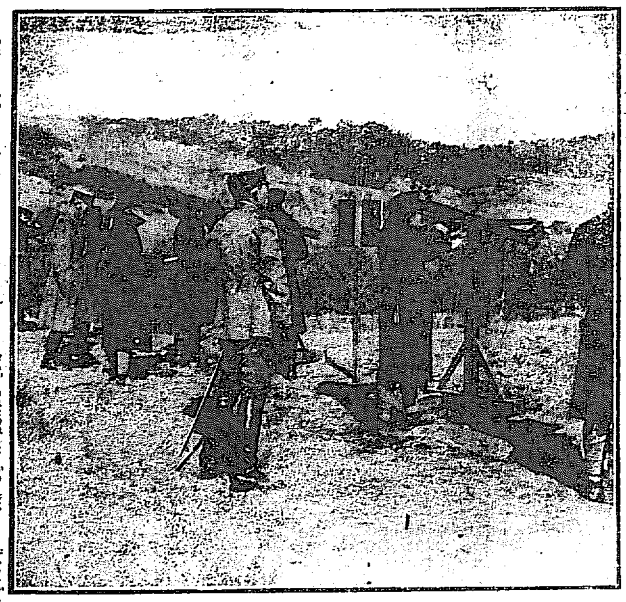
▣叉銃の劍に 輝き亘つて射擊場の廣場は見るからに勇ましい眺めであつた、教官岡村豫備步兵大尉に引率された中學生は初め先づ軍の中村少尉から一通り射擊に關する注意を聽いてそれから四人宛整列して射擊の順を待つて居たが場內に十個樹てられた標的中左側四個は中學生の的に充てられたので射擊が開始されると共に軍隊側からも中學生側からも盛んに勇ましい銃聲が起つて標的十個の的板が

▣クルリ廻轉 すると共に黑い坊主が出る白旗が出る紅白旗が出るそれが一々零點、三點、七點と點數を現はすので中學生達は大喜びであつた、標的は二百米突の最短距離であつたが生徒は何れも階段托架に村田連發銃を架し銃劍を帶びた凜々しい姿で四人宛立擊の構へをとつて發射した又托架の側には生徒の記點手や監的係が立ち猶ほ姿勢、標準、引鐵の引き方などに就いては岡村教官中村少尉以下下士の人々が

▣熱心に敎へ て居た、軍から來た中村少尉のはなしによれば中學生の成績は何れも相當に良好であつて殊に中溝水君の如きは五發の射擊で三十二點を得つて居るからこれなどは現役兵としても好い程である、併し生徒の多くは向ふの標的ばかりに氣を奪られて自分の方の

▣基礎を固め る事を忘れる者が多いのであるがこれは始めての人には無理もない事である……と、又岡村教官も御覽なさい中學生が軍隊の初年兵士と共に相並んで射擊を試みつゝある處は大に愉快でありませんかと大滿足の態であつた、歸りに向ふの標的を樹てた監的壕に行つて見ると壕の裡には若い軍曹を初め中學生の連中がニコ〳〵して監視して居たが、『バチッ』と彈丸が命中する毎に『ホイ來た!!〳〵!!』と

▣標的を廻す 『第二圖的』よく見ないと黑い處にあるぞ!!』と軍曹さんが敎へると『ヤア駄目々々!!』と中學生が坊主を振るなど壕の內側はなか〳〵の賑はひであつた、中にも砂煙をあげた跳彈がバチ〳〵と續け樣に飛んで來ると壕の連中顏見合して『早いなあ、あわて者だなあ!!』と大笑ひであつた



「三十二點……」京城中學校生徒の實彈射擊演習

●脫黨代議士に
嫌疑の雲

大隈首相狙擊教唆者として這回同志會を脫會せる某代議士共筋より大いに嫌疑をうけをれり(東京電報)

●澁谷の大火

廿七日午後東京府下澁谷町下澁谷千七百廿五番地女理髮店伊藤トラ方より出火し約六十戶を燒失し七時三十分鎭火せり(東京電報)

●刑事、拳銃强盜と格鬪捕縛す
四發の實彈=懷中電燈=目星を附た家

二月二十六日午後十時頃京城黃金町二丁目を大風呂敷を背負ひて水標町に向け擧動不審なる洋服姿の年頃三十四五歲位の內地人が通り蒐りたるを早くも怪しと

▲本町署の長野刑事 が尾行したるに同人は水標町三浦古物屋に這入り擕へたる荷物を賣却せんとするより近づき見たるに衣類黃縞縕袍銀側懷中時計等なるより今は猶豫すべきにあらずと直ちに同人につき取調べを爲さんとしたるに早くも逃走を企てたるより追跡したるに不敵の曲者は右のポケットに隱し持ちたる拳銃を發射せんとしたる一刹那同刑事は急遽身を跳して組付き所持の拳銃を捥ぎ取らんとしたるに强力なる曲者は極力抵抗し約三十分間格鬪をなし居る間附近の者等蝟集し來り遂に

▲逃路を失ひて縛に就き たり直ちに身體を取調ぶるに驚くべし彼が所持せる拳銃には四發を裝彈しあり尙別に鋭利なる大形ナイフ一挺同じく小刀一挺懷中電燈外二三品をも匿し持ち居れるを發見したり依つて直ちに本署に引致して取調べたるに彼は石川縣金澤市馬場崎町生れの無職强窃盜前科四犯小池由太郞事谷常次郞(三二)といふ者にて本年一月以降全州大田等を荒し廻つて京城に入り本町三越吳服店裏小路の某內地人宅にて强盜をなさんと謀り目星をつけゐたりしも不運にて遂に逮捕されたる旨を自白したるが尙餘罪多き見込にて引續き取調中

●東大門樓上に
金を持て來い
富豪を脅かす

强盜前科者にて恩赦減刑に浴し目下京城救濟會の手に救濟中の權仁石(二九)は本年二月九日慶北金山郡梭洞の富豪金喆求に對し『自分は十數年前國事の爲め外國にありたるも資金なき爲め事成就せず已むなく全道の富豪に賴み資を仰がんとす貴下は相當の資產家なりと聞く金五千圓を出資すべし成功の曉は返金は勿論高官に任ずべし依つて該金は來る十五日京城東大門樓上に持參すべし若し違約するに於ては放火し家人を鏖殺すべし祖先の墳墓を發掘すべし大將李仁奎少將閔寅鎬』とかきたる脅迫狀を二回郵送したる爲め所轄憲兵分隊員は此の程京城に來り鍾路署と協議の上犯人を嚴探したる結果右の所爲は愈々仁石の仕業なりしこと判明し鍾路署に檢擧して取調べの結果同人は他二箇所の富豪に前同樣の脅迫狀を郵送し居るも暴露し尙餘罪ある見込にて目下引續き取調中

●外國製品の商
標で粗惡酒

富山縣婦負郡古里村當時京城本町三丁目酒行商井上庄太郞(三四)は外國製の酒類の空瓶を集め其瓶に貼付しある商標を其儘になし置き外國製酒の如き文を英文にて書き入れ或は印刷物を貼付けて外國品の如く裝ひ雇人なる愛媛縣喜多郡天神村生れの山本猶藏(二七)と共に右の瓶には下等なる酒醬油等を入れ所謂羊頭狗肉の策を以て本町南山町黃金町壽町南米倉町太平町等の飮食店に店仕舞品なりとか稅關脫稅品なりとか巧言以てブランデー、ウイスキーなりと稱して相當代價に賣りつけゐたることを本町署に於て探知し兩名共遂に檢擧せられたり

●牛商に化た强盜

全羅南道莞島郡內面新亭里の尹德九(三十)は附近の親戚に招かれし歸途姓氏不詳の者三名が道を尋ね自分等は牛を買る者にて多數の牛を船に積込み來りしも土地不案內なれば宜しく周旋方を賴み度しとて德九を欺き海岸に誘ひ出し不意に三名にて同人を毆打し所持金十四圓を强奪逃走せり

●無い大豆を二百圓で

京城南大門通五丁目井坐交方居住林時雨(三二)は昨年十二月三十一日黃海道平山郡汗浦の鍾貨商朴滋方に到り大豆を賣り渡すべしと現金二百二十圓を詐取し內五十三圓餘を所持し殘金百六十六圓餘を消費し居る所を本町署に取押へらる

●車賃に下駄で毆る

東京淺草區小谷町生れ當時京城長谷川町居住工吉井久吉(三四)は京城地方法院にて前科二犯の處分を受けたる者なるが二月二十四日午後七時半頃東大門外準場に客待ちをなし居るより二十五錢の約束にて乘車し長谷川町に歸宅したるに支拂ふべき現金なく車夫より請求を受けたる際毆打して追ひ歸したるより本町署にて取調べらる

●客引の喧嘩

岡山縣後月郡井原町當時京城南大門通五丁目某旅人宿客引川上正平(二二)は二月二十五日夜十一時半頃同町道路にて預て不和の間なる附近の河野信夫(二十)と客引上の事より口論をなし互に格鬪中正平は下駄にて信夫を毆りつけ其頰に咬みつき治療三日を要する創傷を負はせ本町署に引致さる

●日蓮宗說教

劉水洞本能寺朝鮮布敎所にては二日佐渡流罪中の日蓮上人と題する說教ある由

馬賊の群より

八 山中の銃殺
麗華茶園の女優 危險な浮き稼業

馬賊に爲つて他人の物を掠奪すると云ふ事が支那人にはさして惡い事とはどうしても考へられない餘程嚴格な者から見ても困つた道樂者だ位しか思はない官憲の方でも其の通り大分其の取締は緩漫である最も

昔は馬賊を働いて 居つた男が何々將軍だの第何師長だのと云ふ樣な要路に立つて居ると云ふ有樣であるから文官の志願者が學校へ這入つて勉强して科擧の選に預らうとする位の考へで馬賊に爲つて一働き働いたら直ぐにでも將軍に特れる樣に考へて居る從ら馬賊を働いても現行犯でなければ捕つて處罰されると云ふ樣な事はない、昔日本の博徒が

▲立派に看板を懸け て博奕を打つても丁、半を爭つて居る現場で押へられさへしなければ天下晴れて博奕打で通れる、お役人の前で大ツぴらに乃公は昨晩、夜びてレコを行つて居たよと云つたつて捕まる心配はなかつたものだ、滿洲の馬賊とは其なもので他の家に押入つて

働いて居る場合に 捕まりさへ爲なければ大丈夫であるが、更に大丈夫なのは實力を養つて二百や三百の官軍が何時攻めて來てもビクとも爲ぬと云ふ位に成ればもう占めたもので有るが、大抵それまでにならぬ內に官兵から選られて終ふ。之れは人民の害を除くと云ふ意味よりも其の力を强大にすると終ひには

▲天下國家を窺ふ樣 に爲るさうすると手始めに自分だちが危くなると云ふ處から、二葉の間に摘むのである。平頂山の鮑大王は其の後遂に島田を顧問役に賴み、湯山城附近より龍王廟邊りまで荒廻つて一時は却々の勢力であつたが昨年十二月鮑は商人の風をして安東縣に出で一仕事する計畫を立て、居たが同地の麗華茶園で演劇中の

女優常蛾の色香に 耽溺して居る內に、密告する者が有つて十二月末、元寶山の麓で常蛾と共に馬車に乘つて糧市を見に行かうとする處を巡警から引き下ろされ、翌日直ちに八道溝の山間で銃殺されて終つた。其の報知がまだ山寨には達しない間、本溪湖の

巡警は平頂山に踏 み込んだので百姓上りばかりの部下は一溜りもなく追ひ落されて終つた島田は飛んだ野心を起して鮑の顧問役に爲つた爲めに、炭坑の方は飯の喰上げに爲つて、今では奉天附近でブラ〳〵と遊んで居る。(終)

●京大生の授業料滯納處分

[illegible]しに意外にも學資金の窮乏にあらず何れも中產以上の者のみにして最高學府の學生にあるまじき所爲なりと[illegible]に對し停學聽講禁止を命じたり同大學にて斯かる多數の停學聽講禁止は空前の出來事なりと(京都特信)

●モヒ注射者の[illegible] [illegible]し居るを本町署の警官檢視し屍體は府へ引渡す

●[illegible]の檢束 [illegible]に一箇に入質消費したること發覺し本町署に引致さる

●マントを萬引する 京城玉仁洞の勞働者李應植(二十)は二月二十五日[illegible]に一夜の檢束となる

天氣 はれ 晴 三月二日

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 新派悲劇 泣かぬ女 全三卷 [illegible]

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 泰西探偵劇 火中のブラウン [illegible] 新派悲劇 高浪八郎の傳 [illegible]

壽館 壽町 電話一〇五〇 京城龍山名士出演素人淨瑠璃大會 [illegible]

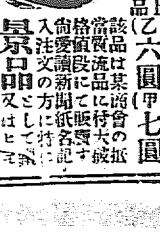
浪花館 明治町 電話二六〇番 浪花節 合同大一座 [illegible]

佐久良座 新龍山 三府合同歌舞伎大一座 本朝廿四孝 全五冊 阿波鳴戶 一場 [illegible]

御成座 御成町 電話二九一 江戶ッ子會一行 [illegible]

滿蒙處分論 京城日報代理部 振替貯金城三〇京
牛乳 ヨーグルト 東亞牧場 京城新町
泌尿器病 專門 入院隨意(診療夜九時迄) 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 安部醫院 永樂町二丁目 電話一九四番

かぜ ねつ 最良藥 アンチピリン丸 [illegible]

久須 [illegible] 膏藥 日野時計店

懷中正銀側時計殆半額 [illegible] 五圓最上の品(乙)六圓(甲)七圓 [illegible]
醇良清酒 和か松 若松商會酒造場 大邱東門町 精米部 電話二二 振替一〇三七番

大邱市民の歡喜（六）

自ら進んで土地獻納をなす

坪十三錢の割である

昨年十二月十八日附政務總監から道長官宛大邱に愈々聯隊を設置する事に決定したる旨公達せられた、是より先敷地豫定地を買收するに就ては土地調査局からも吏員が出張して地價評定を爲す處あり更に

道長官の推薦になる

土地評價委員を定める事になつたが其節道長官は關係地主三百餘名を期成會實行委員として招き土地賣却承諾の事賣却價格は道長官の推薦する評價委員の評價を肯定する事等を誓約承諾せしめた而して十月廿三日左の評價委員の推薦があつた

兵營敷地評價委員

慶城郡守李謙雄、同郡書記荒川鶴次郎、大邱府書記月田市、壽城面長[illegible]、團野清一、內坂庄一、大橋松太郎、清水德太郎、小倉新三郎、鄭在學、李一雨、[illegible]

關係地主（朝鮮人二百九十餘名、內地人十七名）は所在不名者七八名を除き總て右の價

一も二もなく悅んで

承諾し左の承諾書に對し記名調印した

承　諾　書

今般陸軍省へ兵營敷地御獻納可相成候に付ては（地名）所在拙者所有地の內何の土地にて陸軍省御指定の區域內に編入せられ候節は慶尚北道長官の御指名相成たる評價員の評價を以て該土地を賣渡し且同地上所在家屋[illegible]移轉の儀承諾仕候尚右評價手續に依り移轉の儀承諾仕候[illegible]而後日承諾書差入候也

此等の地主中最も廣い土地を所有してゐるのは徐丙朝氏の一萬五千坪で或る平均地價は課税價格標準から見たものは

評價委員の評價は是よりも稍や高價なものとなつてゐる是等に關し期成會長小倉武之助氏（途中中江氏と更任）が實行委員へ交付した經過報告書の豫算書を見ると負擔割

內地人　一萬八千六百九十三圓
朝鮮人　一萬圓
會社銀行　三千圓
合計　三萬二千百九十三圓

其割合は內地人は在住者八千八二千五百戸中五百戸朝鮮人は二萬五千人七千戸中七百戸であるそして既定の第三回拂込（二月廿二日）迄の醵出金額は一萬六百圓で其內譯

內地人　九千二百圓
鮮人　一千三百圓

更に土地買入並に附帶豫算を見るに

▲總支出
土地買入費　[illegible]
移轉物件補償費　[illegible]
登記費　[illegible]
事務所費其他支出　[illegible]
合計　四二、二四四、八三八

▲總收入
府民醵出金　三〇、〇〇〇、〇〇〇
（但在中訊額三萬二千百九十三圓の內買收見込額）
不用軍用地交付により收得すべき見込金額　一二、二四四、八三八
收入合計　四二、二四四、八三八
收支差引殘金無し

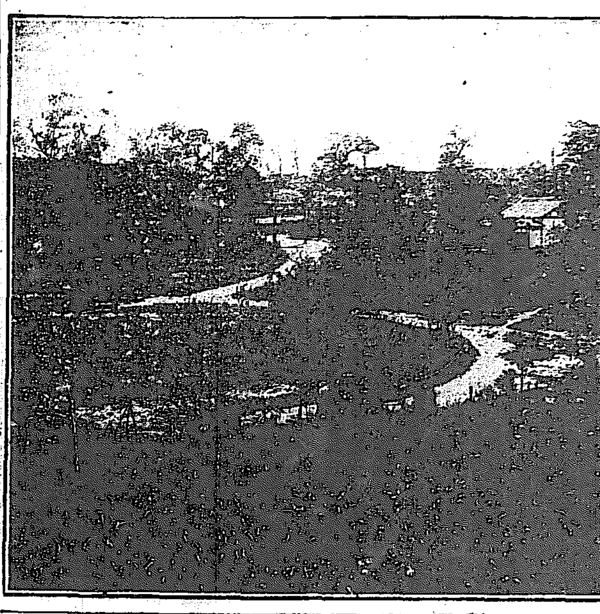
寄附金醵出最終期から第一回寄附金交付期迄約五週日の餘裕があり其間に一萬四千圓餘を集めなければならないのが期成會の責務であり臨時

土地獻納委員部の督勵

範圍でもある寄附金醵出最終日の翌日即ち二月二十三日から期成會の幹部たる小倉會長其他諸氏を連ねて市中を巡回寄附者の戸別

訪問を爲し始めた

被訪問者は大邱に於ける有力者たる幹部諸氏打揃ふての訪問とて只管に其勞を謝し悅んで醵出すると云ふ有樣であつたから無論寄附金交付期日（三月末日）迄には豫定の二萬五千圓は必ずや取集し得られる事と思はれる



大邱の達城公園

◎木村屋の洋菓　明治町二丁目木村屋支店に於ては今回大連滿鮮本店新製にかゝる洋菓ドロップス並に英國式製法によるクリームキヤラメルを賣出したり

桃の節句の雛料理

樂しい古雅な上巳の節句は目の前に迫りました雛壇へさしあげる御料理の御支度にモウ取掛からなければなりませんお節句の御料理はそれ〳〵古實が有ますから御紹介申しませう

△向旭膾（大根、赤貝、ぼら作身、けん、鯛の石、煎酒）

ぼらの鱗を去り水洗して三枚におろし骨臉腑を去り頭の方より皮を引き一人前五切或は七切の刺身に作り置く。けん大根は適宜に作る。鯛の石はらさの皮をむき小口より四分位に切り輕く湯がき甘酢におろし置く。ぼらを向ふ海苔に之をまぶし。二杯酢にけんを右に盛り。二杯酢にて進むべし

△豆入吸物（銀杏、水前寺海苔、人參しんじよう、魚の身、かきもち）

銀杏は皮をむき煎り置く。しんじよう海苔はあられに又人參魚の身もあられに小切り湯がきて椀に盛り普通の清汁を作り。かきもちをふきんに包みたゝきて粉にし清汁の內に一つまみ入るゝべし

△寶　袋（木くらげ、卵の花、油揚、筍、胡麻、玉子、人參）

油揚はたきだしのかはりにて四角の油揚を湯煮して油を去りだし砂糖醤油にて味を付くる卵の花は裏ごしにかけ丼一杯に玉子三個だし三杯の素醤油にて味を付け良く煎上げべし。木くらげ筍人參は油揚のだしにて味を付く、黒胡麻と卵の花を混ぜ油揚を開きたる中につき込みかんぴょうにて結び薄く味を付け切口を見せて進む（南山町松岡料理教習所長談）

演藝

△盲人芝居　京城按摩業組合にては白井教師並に組合の基本金を造る目的にて組合員七十餘名中より十餘名の有志相謀り十日頃慈善芝居を催す由にて近く稽古に取懸り社員の如きも成るべく盲人を主人公とせるもの選ぶ由なるが按摩芝居とは先づ以て京城開闢以來の事なるべし

◎御成座　三洲家歌輔一行の落語音曲手踊

◎壽館　一、二兩日京都浄瑠璃會にて入場無料、蝶六郎も出演する由

◎黄金館　二十九日より新寫眞と差替へたるその主なるもの左の如し
實寫歐洲戰亂第二十四報、滑稽アルマさん惡戯泥だらけ、探偵活劇火中のブラウン（八千呎）、新劇報飛佐助（全四卷）其他十五場

◎大正館　二日より新寫眞と差替へたり　セイヌ河の旅行、僞物の石膏、新派『泣かぬ女』三卷六十五場、[illegible]悲劇高浪（三卷）

越後大評定

第百四十六席　早川貞水口演

瀧口三郎兵衞の拷問

金五郎の瀧口三郎兵衞は、先刻の烈しき働きにて、血潮は所々より流れ出で髮は麻の亂したる如く、見るもなき姿となり、兩眼を閉ぢ、口を結んで一言も發しない、頓て小栗美作言葉烈しく『ヤイ植木屋喜平治寄子金五郎、面を上げえ、汝は公儀より這入りし隱密か、それとも他から我して當家の容子を探らんため忍び込みし者か、明かに申せ、次第に依らば助けて取らする、併し嘘僞りを申すに於ては、用捨は致さぬ

サア判然と申せ』三郎兵衞静かに兩眼を開き、莞爾と笑ひ『ヤイ美作、此俺が眞に喜平治の寄子金五郎ならば直ぐに恐れ入つたと云ふであらうが如何にも汝が推察の如く、我こそは恐るべき諸侯の家來にして、君命に依つて汝の擧動を探索に罷り越したる者なり、汝は既に下野守綱貫公を毒害いたし、尚又三河守綱國公を不行跡に仕立て、柒井のお屋敷に押籠めとなし、大老酒井雅樂頭の內命と騙り、己れが倅大六をして、主家の家督を繼がせ、表は忠義に見せ掛け長らく謹愼の體を裝ひ、密かに公儀役人の內通に及び、罪なき所の荻田主馬、永見大藏を毛利家に預けたるは、是れ主家横領の大惡人、吾汝の擧動を見屆けんため、植木屋に變じ當家へ立入つたり、然らば是なる喜平治は、全く此方を丑右衞門の倅金五郎と心得居るは道理至極、如何

にも氣の毒千萬、然るに是等罪なき者を捕へて、君に迸す一白狀せしめんなど、は片腹痛し、此上は美作自身に於て責落すなら落して見よ、君は左樣に輕々しく主家の名義、己れの本名を名乘る如き卑怯未練の者にあらず、サア殺さば殺せ、縱令苦しいまゝ死するとも、汝が惡事ヤハカ其まゝ見遁すべき、能く〳〵覺悟いたせ』パツと口中の唾を小栗の面上へ吐付けたから、眉間からダラ〳〵と流れ突りの臍が鼻の邊まで垂れる、美作喝と怒り『ソレ打てッ』と下知しますと、一味徒黨の惡人共、三郎兵衞

を左右より擲毆きましたから、皮は破れ、肉は爛れ、血汐は流れて砂利を潰し、見るも厭はし無殘の態、其日は頓て藥を與へて吾に歸らしめ、一先づ白洲を終り、喜平治は親類預け、女房、娘、寄子の者は、一旦引下げられましたが、三郎兵衞は其翌日より水火の拷問、何とも彼とも言はれざる慘酷なる責苦に遇ひ、身體は糸の如く痩せ衰へ、生きたる心地も御坐いませぬが、主家のため斷じて其名を言はざるは、實に世にも稀なる大丈夫で御坐います、流石の小栗も責め倦んで、三日ほど拷問を休みました、茲に其牢番を致して居る者に、中澤藤兵衞と云ふが御坐いました、年齡三十五歲、全體牢番などゝ云ふ者は、何れも情け知らずの非人共がなるので御坐いますが、此藤兵衞は牢番に似合はず、誠に情け深い者で、一口毎に念佛を唱へる『アー好い天氣だ、南無阿彌陀佛』『湯から上つて來て『アー好い心持になつた、南無阿彌陀佛』温熱ひ御飯に御刺身、こんな美味い物はない南無阿彌陀佛』と云ふ風に、一言毎に念佛を唱へますから、人呼んで念佛藤兵衞と云ひました。

お聞きなさい

△大評判の鬼子　九州大分市の某家に鬼兒が生れたと云ふので大評判で、額から直ぐに薄い皮の袋のやうなものがかぶつて居て口は耳まで裂けて居る生後直ぐに大人のやうな齒が生えて居るなど全たく鬼子と呼ぶに相應しい形相を備へて居るさうである

△幼兒を背負ふた女の屍體　廿四日の晩鏡前八幡町の製鐵所の溜池に六歲計りの幼兒を背負つた女の溺死體が浮むだそれは同町枝光上本町三丁目の田中彦太郎の長女ひさ（一八）で目下小倉高等女學校の三年生だが自分は卒業後高等の教育を受けようと思つて居るのに兩親が許して呉れぬのを悲觀して幼妹のあさよ（六）を負で入水自殺を遂げたものと知れた

△長壽と酒煙草　曩に天盃下賜の榮に浴せし長崎縣北高來郡內高齡者六百三十七名に對し同郡役所にて調査の結果に依れば過半數は女子で早婚よりは二十五年位の晩婚者に多く且つ多くは四五名の子女を有し大部分は長男か長女で富者は至つて少く大部分は酒も煙草も嗜まぬものである

△ジゴマ團より新聞社へ　廿二日久留米市筑後新聞社へ高良山上ジゴマ團長よりとして一通の葉書を送つた其文句には筑後新聞は一味の行動を妨げ或は非行を發くを以て復讐の爲め暴風雨の夜に乘じ同新聞社を燒打せんとす吾々は高良山上に根城を構へ六連發の短銃三挺日本刀五振を用意し附近一帶に陷穽を設け何時警察隊が來襲するとも逮捕せられずとあつたさうな

ジヤムパン、グリームパン、アンパン
早く買ませ賣り切れぬ間に
京城旭町木村屋電話二八七〇番

三月三日九星
舊正月廿九日巳亥
本命六白乾納大安

▲六白 利を損する事有注意 新事見合南方は吉[illegible]▲七赤 圓滿の日轉居行商入學名弘[illegible]▲八白 福運の日[illegible]萬吉▲九紫 [illegible]▲一白 高尙の日[illegible]▲二黑 富貴の日[illegible]▲三碧 苦慮く[illegible]▲四綠 [illegible]▲五黃 [illegible]

京都帝國大學にて[illegible]…名丁科四名文科二名理科醫科各二名宛都合五十七名

[illegible]入口の路傍に住所氏名不詳の乞食態年齡二十五六位の鮮人男行倒れ死亡[illegible]

[illegible]日頃同家の[illegible]け一個を窃取し之を太平通りの質屋[illegible]

[illegible]如何なる風邪に罹り亂暴を働き手に了へざるより最寄交番の巡査出張して取押へ本署[illegible]

◎[illegible]月午前釜山入港新羅丸一二等客[illegible]一二十九[illegible]名

[illegible]小西方吉郎、同小ぺん、同[illegible]外六十一名

商況

債券現物特電

廿九日出來値段（前日との比較）
[illegible]

東京公債直取引特電

一日出來値段（前日との比較）
[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

	寄付	大引
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

▲一日前場
當限寄付　[illegible]
中限寄付　[illegible]
先限寄付　[illegible]

取引所は違約處分

賣買停止中の下關米取引所の建米の內二月限に對し主務大臣より同時に同限二月限の許可ありたる同時に[illegible]

總金高の一割即ち八萬五十四圓を賣方に交附

[illegible]

訴訟を其筋に提起し更に損害賠償

[illegible]

雜報

◉石油界の其後 結果は原油暴騰

[illegible]

調子なるが輕油は幾分高

[illegible]

◉片栗粉好人氣 袋入れば六圓十錢

[illegible]

漸次底強

[illegible]

◉生地毛斯崩落

[illegible]

六十錢方引上準備中 內地油品は茲に

[illegible]

◉牛皮は靜穩

[illegible]

至極靜穩なり 落付模樣

[illegible]

◉牛臘は漸騰

[illegible]

二十四圓を唱ふ

[illegible]

◉元山鯡引締む 更に三圓高の四十八圓を唱ふるに至れり

[illegible]

◉鹽鱒と新著荷 三十錢處の十貫目四圓

[illegible]

◉明太魚持合 多少不昧の傾

[illegible]

◉浦鹽鯡 元山相場四十五圓

[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は不引立　其後百二十[illegible]

各地商況

○釜山（二十九日の穀物）
[illegible]

△同二等白米（常用）[illegible]
△同　[illegible]
△良質大豆　[illegible]
△元山大豆　[illegible]
△同大玉上品　[illegible]
△常用豆　[illegible]
△慶山大豆　[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

▲三月一日前場　大阪
前當限高上三圓六十二錢と昨比より四錢高中八十七錢[illegible]

十一錢と中限より二十四錢上鞘の入電

[illegible]

新甫十四圓

[illegible]

十二錢上鞘に發會

[illegible]

市場零聞

發會動かず

[illegible]

仁川米豆取引所

一日の五月限

前場	平均値段
寄附	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止	[illegible]
出來	[illegible]

賣買取組高
三月限　四萬二千六百五十石
四月限　五萬二千五百石
五月限　[illegible]

小賣白米

上白米一升　[illegible]
[illegible]

▲期米眼先觀

[illegible]

意外の好調を報じ居る地場の正米界

[illegible]

▲仲買店移轉

[illegible]

前場の手振り

氣乘つたが新甫は一向

[illegible]

新甫發會す

[illegible]

九錢の大上鞘を報じ東京四十

[illegible]

中高中安となる

[illegible]

當限は茲に中限低く

[illegible]

戰上極力賣り壓へ軟軍の策

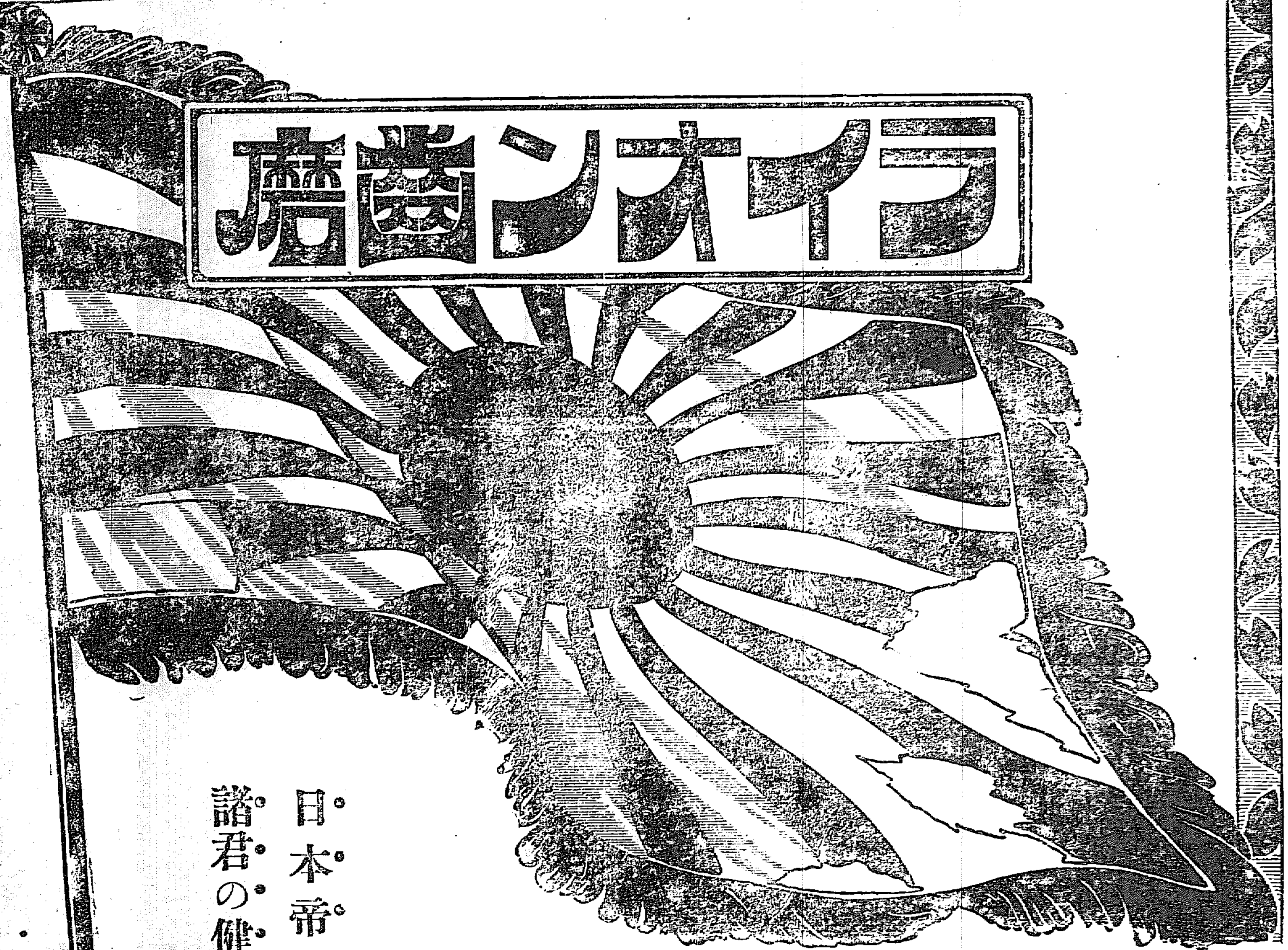
[illegible]

鞘に買氣が刺戟したる各地の大上

[illegible]

田中金物店 電話二一一三番

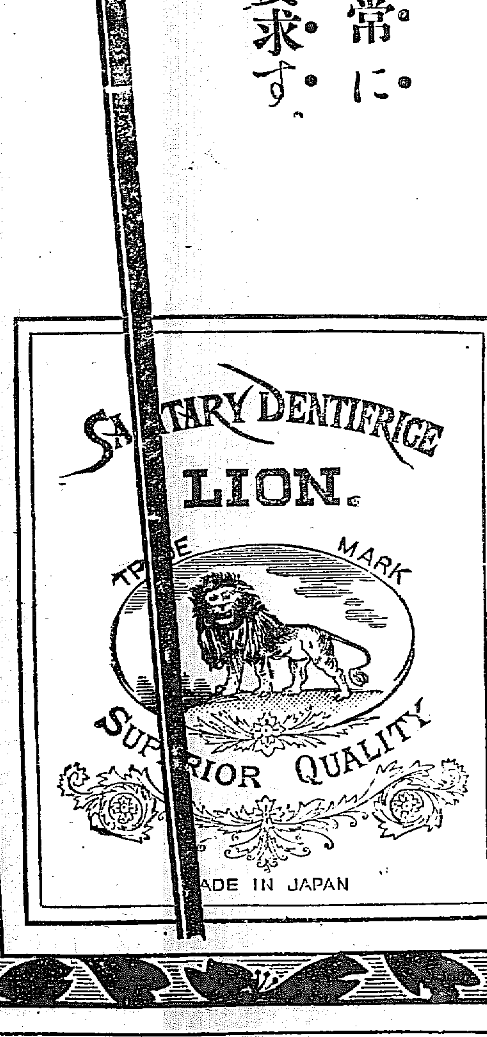
汽車



日本帝國は、常に
諸君の健康を要求す。

義勇奉公は
日本國民の生命にして
品質の純良は
ライオン齒磨
の本領なり。

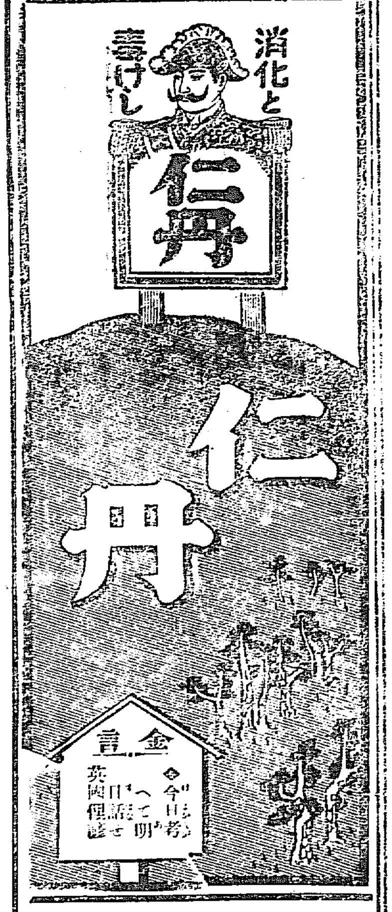
帝國の精華たる陸海軍人諸君と、國民の花たる満天下の學生諸君とは、悉くライオン齒磨の愛用者なり。



ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎

醇良清酒 名城
發賣元 今井商店
大邱東城町一丁目電話三四一

馬鈴薯種
長輪市坂本町 東洋園農場



比較は最良の撰擇法なり。
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替京城五七番

資本金 五百萬圓
頭取 安田善三郎
★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目
電話長五八番 一九四番
振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下関神戸大阪行
秀吉丸 三月 日後四時出帆
大有丸 月 日後四時出帆
伸代丸 月四日後四時出帆
鼓溜丸 月 日後四時出帆
君が代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通三丁目電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船 仁川出帆
全羅丸 三月十三日
京畿丸 三月十三日
黄海丸 三月十七日
成鏡丸 三月 日 釜山發
慶城丸 三月四日
昌平丸 三月一日
龍城丸 三月八日 元山發
忠清丸 三月八日
平壌丸 三月二十日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盈徳丸 三月七日 釜山發
江陵丸 毎日
義陽丸 (釜山浦項)發
三浦丸 三月五日 釜山發
済州丸 巨済丸 毎日 釜山發
統營丸 慶寶丸
順天丸 三月日 木浦發
慶興丸 三月四日 木浦發
公州丸 三月二日 木浦發
公州丸 三月六日 木浦發
全州丸 三月二日 仁川發
江原丸 三月七日 仁川發
麗水丸 三月八日 仁川發
晋州丸 三月三日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 三月四日
平安丸 三月八日 群山發 若松發
京城南大門通 松原運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
武神丸 月 日後五時出帆
○元山清津浦項行
立神丸 三月十六日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 三月 七日後五時出帆
○元山、城津、浦項行
小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三勢平丸 三月 十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三勢平丸 三月 一日後六時出帆
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行
天真丸 毎月二日九日十六日廿三日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
三池、芝罘、大連行
共同丸 月 日後二時入港 月 日前九時出帆
大連にて南満鐵道及朝鮮各港共同出帆
城津、清津、浦項行(元山出帆)
第一阿波丸 月 日後九時出港
西湖津沿岸各港を経て雄基行
第三 月 日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目電話一〇八番
(元山出帆)
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城南大門代理店 河村運送店

京城日報
第三版
大阪三品

大阪期米特電（一日）
後場寄付十三圓六十九錢止め六十四錢 △中限寄付[illegible]錢止め八十二錢 △先限寄付[illegible]止め[illegible]八錢

▲後場の手振り [illegible]千二百石へ千石 賣買にして[illegible]千五六百石賣に千三四百石へ千一、二百石賣買にて他は小口賣買に過ぎなかつた

▲當限の前途 [illegible]

露國首相の更迭
同國新聞の所論

露國首相の更迭に對しノーヴォエ、ヴレーミヤ紙は二月二日の紙上に於て其意見を發表せり、曰く

首相ゴレムイキン氏終に去る吾人は之を以て露國の政界が一巨人を失ひたるを遺憾とすると同時に其事が政界の趨勢に伴ふ當然の結果なることを思はざるを得ず彼が其精神と手腕に於て堅實なる政治家なりしとは素より異論なき所なれども其出處訓練が官僚萬能の時代にありしために其行動が兎角今日の時勢に適合せざりしことを否認するを得ず今日國家多難の時に際して首相の任にあるものは能く政府部内の統一を保つと同時に殿く民意を容れて其後援に依るの覺悟あるを要するは明白なる道理なりゴレムイキン氏が昨年中頻りに開會を變更して以て能く政府部内の統一を維持し得たるの事蹟は吾人の認むる所なるも其事が適々以て民意を無視したるの嫌あるに於て彼の功過を判斷すること亦容易ならざるものあり明君既に民意に聽くの聖旨を宣明せられたる今日若し之に聽從するの意志を缺ぐものは終に是過去の人たらざるを得べきか。

ゴレムイキン氏の後を承けて首相の任に就たるシチュルメル氏に關しては其十數年前に於て地方官として又其後宮内官として有用の材たるを認められたりと言ふの他に吾人多く知る所なし若し單に其出處と經歴とを以て忖度すれば是亦前任者と同じく官僚系に屬して而も前者の域に達せざるのみ彼の爲に慮する者は曰くシチュルメル氏は極めて温和周密の人にして今日まで一度も國務大臣として國政の衝に當りたることなければ從て其主義を宣明したることなし是部内の一致を維持し又官民の間を調和するに是も便とする所なりと今日内外多事の時に當り爲政の大任を受るものか其信條と手腕に依て一般の信望を繫ぐものあるが故にあらずして其色彩不明なるの便宜を有する爲なりと云ふは吾人の甚だ意外とする所なれども彼既に就任したる上は今にして遽に其適否を云爲するは輕忽の譏を免れず但しシチュルメル氏にして既に前任者の失脚したる所以を知り又時勢の趨向を察したる上に於て就任したりとすれば必ずや自期する所ありて聖意に報ずるの覺悟あるべきこと勿論なれば吾人は暫く默して其爲す所を觀望せんとす

又ルスコエ、スローヴォ紙亦之に對し二月三日の紙上に於て論じて曰く

昨年來久しく結んで解けざりし首相對代議院の抗爭は今や漸く解決の時機に達し首相ゴレムイキン氏は終に職を去れり

彼が昨年代議院の希望を容れず尚ほ之に停會を命ずるの英斷を爲し民望を負へる閣員を排して自己一味の者を糾めて政府の結合を鞏固にし以て獨斷の政策を強行するの準備をなしたることは痛く國民代表者の反感を招きたれば次期の會議に際して代議院が彼の提案に贊同するは殆ど望なき事情あり是彼の最も苦痛とする所にして此因由あるが故に昨年十一月次回代議院召集の詔を發せらるゝに當りては彼は極力之を以て豫算協議の範圍に止めんことを建策したれども聖意之を允さず代議院は遂に普通立法會議として開會せらるゝこととなりたれば首相退職の運命は此時を以て定まりたるものと言ふを得べく今や代議院開會の期迫り又頃日其議長ロジャンコ氏より痛切なる提議ありたるに際し彼は遂に意を決して任を去りたるは其經路に於て當然の處置と言はざるべからず

ゴレムイキン氏既に去る政府と代議院を隔離したる所以の原因は除去せられたり然れども之を以て直に政府と國民の意志疏通したりと云ふを得ず而も此合意確立するにあらざれば此國家多難の時世を救濟するを得ず此に於てか問題は後繼者の人格と手腕に移らざるを得ざるなりシチュルメル氏は未だ政界の未知數たり吾人は未だ彼の主義と手腕を確言する爲めに何等の根據を有せず就任の日彼の言ふ所に依れば其所信は民意を尊重し國力を傾倒して時難を濟ふにあり吾人は暫く彼の言議が必ず事實となるを希望するに止めんと云爾

咸北の水産（中）
北鮮の一大寶藏庫

▽朝鮮人漁業 道内に於て約二千七百戸の漁民と一千二十七艘の漁船とを有すも之れを他道に比すれば甚だ少く且つ半農半漁のもの頗る多く隨つて漁業方法幼稚なり誠に内地人の通漁未だ少きの關係上刺戟を受くるところ少きも一の原因たるべく沿岸には大なる漁撈なく各部落とも大小なく漁業の方法も亦大同小異にして大抵一致せるもの、如し即ち最も重要漁業にして且つ彼等生計を樹つるに重要なるものは鱈、明太魚と和布にして他は誠に微々たるものに過ぎず多くの各漁村漁民の爲す年中行事とする所の漁業は如左

自九月中旬約一箇月間鱈延縄（餌料乏しき故を以て甚だ不振）
自十一月中旬至翌年四月中旬明太魚延縄（二月中旬主として休業）
自六月中和布採取七月中昆布採取
自八月上旬至九月上旬鮨一本釣又は刺網

是れに依れば冬期は最も重要なる明太魚延縄漁業に從事するを以て良しとするも之れに反し内地人の最も繁忙とせる夏期は尤も閑散に過ぐ暖流漁業を大に求むべき必要あり

▽重なる漁業の概況を記すれば左の如し

一、延縄漁業 明太魚、鱈、鯖、鯛の四種に分ち明太魚を最重要とし之れに次ぐを鱈とし鯖、鯛は近來稍々發展を見んとする漁業なり今各別に概説せば

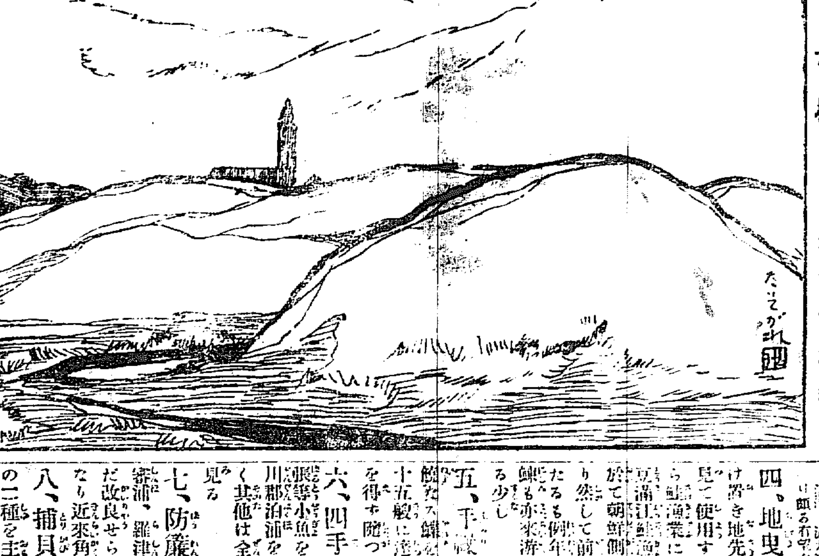
（イ）明太魚延縄 漁村收入中計上の大[illegible]と稱すべく隨つて之れが豐凶の影響は鮮人部落の經濟に及び本年は一般に資力不振の結果今漁村に歸來せる打擊は甚大なるべしと思はる所の漁村には多少つゝ本漁業に從漁せざるはなく餌料の豐富なるは有利なる漁業たるの理由あり從つて本道[illegible]の半數[illegible]を算し[illegible]漁獲高は本道總額の三分の一即ち二十[illegible]に及ぶ漁期は十月より翌年五月に至るも二月中一箇月間位は風浪烈しく且寒冽の爲め多くは休業すされど初期より其終りまでを重要漁期とす

（ロ）鱈延縄 [illegible]從漁すれども内地人の進みたる狀況を呈するに反し餌料乏しき等の理由を以て充分の從漁を見ざるは頗る遺憾なり[illegible]亦四五月頃從漁するものも亦頗る不振なり近來内地人と共に盛んに遣出灣方面に出漁するもの漸次多きを占めつゝあり漁大津以南よりも以北の方盛なり

（ニ）鯖延縄 期前より鏡城郡附近にて秋鯖（九、十月）を目的として使用するものあるに至れり未だ從漁者多しとせざるも秋期朝鮮人漁業として有望なる漁業の一に數へらる

（ホ）鯛延縄 近來内地人に倣ひ或は内地人漁船漁具を讓受け從漁するもの漸次增加し最近漁船十五艘を就するに至れり

二、採藻業 主に和布、昆布にして和布は明川郡沿岸最も多く昆布は西水羅方面最も多く且つ生育良好にして品質佳良なり然るに南下するに從ひ之れに反し少なし兩草とも近來地元洞民に於て採藻免許を受け期日を定めて採取に從事す和布は六月中旬昆布は七月中旬を以て生育期たると同時に採取期とす本年も發生豐富なり價格低廉なりしは一般洞民の打擊甚大なり乾製をなし元山地方へ搬出販賣す



たそがれ 石田富造筆

三、刺網漁業 種類相當に多く鯡、鰈、鱈、鰊、鮭、明太魚の七種に及ぶ就中鱈、鰊、鰈の刺網は鮮人の春、秋の漁業として從漁頗る多し鯡は曲建網を用ふ

（イ）鰈刺網 各地沿岸漁村に於て之れを使用せざるものなしと雖も鏡城郡沿岸最も多く[illegible]

（ロ）刺網 鏡城郡以南の漁村に於て[illegible]

（ハ）鯖刺網 [illegible]

（ニ）鰊刺網 [illegible]

（ホ）鰊曲建網 [illegible]

四、地曳網漁業 は漁村に備付け置き地先に來る鰮、鰊其の魚群を見て使用するものとす城津、[illegible]江に於て專ら鰮漁業に使用するものとあり年々豆滿江鰮漁期には來集し河口附近に於て朝鮮側沿岸にて操業する事盛なり然して前年は二十二帆の出漁ありたるも例年に比し不漁なりし沿岸鰊も亦來游頗る薄く使用すること頗る少し

五、手繰網漁業 沿岸到る所に[illegible]漁獲する目的にて從漁船六十五艘に達したるも未だ完全と言ふを得ず隨つて認はしき成績を得ず

六、四手網漁業 主として鯡、張等小魚を目的として從漁す鯡は明川郡泊浦を中心として其附近最も多く其他は全沿岸に亙りて從漁するを見る

七、防簾漁業 四五月の漁期東海浦、羅津港の鰊を目的に敷設す未だ改良せられず純粋なる舊來のものなり近來角網、壺網類增加の兆あり

八、捕貝 牡蠣採收及び北寄貝突の二種を主なるものとし牡蠣は有名なる黄魚浦なるが近來濫獲の弊害に依り採收高減少せるが同地漁業組合をして巡廻採收せしむると同時に共同製造を行はしめ成績佳良にして前年は約一萬圓の採收あり北寄貝は至る所豐饒なるも利用の途開けざると漁法拙劣なる爲め未だ採收盛ならず唯朝鮮人が突捕して生賣するに過ぎず乾貝又は罐詰となせば前途有望なり

大阪財界通信

△全國煙草大會 煙草專賣創始以來恰も十三年間を經過せるも之が元賣捌人の會合は未だ一回だも見ざるを遺憾とし全國煙草元賣捌人四百四十八人の大會を三月二十、二十一兩日京都に開く

△捕鯨の大合同 内地入捕鯨の合同は其東洋捕鯨が買收するも

△鐵材相場墜落 鐵材相場は昨秋來全く反動安の折柄米國製鋼會社の事實上の買留も其後解除せられて漸次入荷あれば昨今の鐵材市場は百八十圓見當と一時の暴騰値に比し約四十圓方の暴落を告げたり併し安値には手控へ筋の買物少からず現は一段落として目され再び引返すならんとする模樣あれば此處を反動の[illegible]向は政府民間に於ける製鐵事業の勃興[illegible]將來は製產增加に[illegible]

△藥料相場先弱 一時三十倍の騰貴を唱へられし藥料界は近來續々荷物化學染料を公表されし以來[illegible]に減少し昨今殆んど無商内の如く前途甚だ寒心すべきものあり市場は染料商の懷工合の豐富なるにより買手の値段に應ずるものなきも反對に賣らんとすれど非常なる安値を唱へ居る有樣にて三四月の需要期に入らば兎も角も今後藥料相場は到底維持しがたき狀態なり

△藤田の新鑛山 藤田組にては最近買入の鑛山は宮城縣下宮崎山ニ岡山縣下の久木山なるが何れも銅の產出の見込にて目下試掘中也（二十日大阪支局發）

京日詩壇

○福壽草　安永　春雨
歐歲、菊初發。正逢、古元日。磁盆、託芳根。堅冰、怡相親。葉葉、嫩緑。敷花、笑燦燦。評聞、黄金冠。置我、白屋案。福壽、
評曰 恬和

○同上　矢尾　大華
翠袖、黄冠、凝嚴妝。冒寒、微笑、迓初陽。淸幽、未似、水仙好。賴有、嘉名、伴玉堂。
評曰 掩題讀此、確福壽草、蓋以有結句也

○同上　望月　桂軒
不恐、春寒、洩笑嬉。淸姿、何讓、早梅妍。雪中、兒放、黄金色。隔斷、風塵、福壽全。
評曰 具備詠物之體

○同上　成田　魯石
翠袖、金冠、蹔坐賓。笑迎、牀上、玉堂春。盆栽、福旋、栽培、檻柱、不須、題字新。
評曰 想絕平凡

日報俳壇　雉子郎選

枯柳

枯柳空しき藏を持ち侍む　橙黄子
傳家入に心逆らふや枯柳　同
枯柳我を待せて暮るゝ馬車　同
枯柳や橋に砥面を出て直す　山民
枯柳にかけし冠や野の厠　同
舊道に殘されし家や枯柳　盧中平
橋守が死に寄る人や枯柳　潮外星
柳枯れて續く病人に店たゝむ　容堂
因人の運ぶ煉瓦や枯柳　雲帝
柳枯れ蛙籠の腹の出水切れ　漁々史
枯柳僧もなき地に逝く子かな　雉子郎
枯柳や底ぬけ甕の堀出し　同

朝鮮產業指針

朝鮮總督伯爵寺内正毅閣下題字
朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎閣下題字
朝鮮總督府農商工部長官石塚英藏閣下序文
朝鮮總督府勸業模範場長農學博士本田幸介閣下序文
監修 蟻生十郎
編者 大橋淸三郎
同 川端源太郎
同 三輪信一

總クロース 四六版 [illegible] 定價金五圓

本書は始政五年記念朝鮮物產共進會に各當業者が當局の審査を要求したる事業の經營方法及成績に關する記述書中農業、拓殖、林業、商業、水產、金融業を主として直接產業に關する記述書を採擇編纂したるものにして之れに附加するに李王職を始め重要會社と銀行の事業を以てし尚且總督府の施設を以てしたるものなり

本田博士序文中の一節に曰く『共進會展示の出品物たる農產と水產と其の他の生產とを問はず、各人勤勞の結果にして之によりて確合する所尠なからざりしと雖も、吾人の更らに知らんと欲する所のものは該生產物か如何の計畫如何の方法如何の勞作及經費によりて提供せられたるかに在り然るに不幸にして多數の觀覽者は概ね生產品のみを見て事業成績書を逸し或は學理に據り或は實驗に基き一生の心血を注ぎ最善の努力を盡し或は多大の資財を抛ちて成りたるものなるを知るに由なかりしは余儕の最も遺憾とする所なりき、今者開發社諸子が本書を編纂し美を抜き粹を萃めて之を奇劂に附し朝鮮產業の發達及改良に資せんとするは蓋し近來の快擧と云ふべし云々誠に能く本書の眞價を發揮せられたるもの謹で玆に錄し敢て自贊せず

要之本書は朝鮮の產業は如何の情態にある乎の質問に對する最も適實切當の答案として見るを得べく、政治家事業家技術家其他如何なる階級を問はず一日も座右に缺くべからざる寶鑑にして復た指針たるを疑はず我社が此送舊迎新に際し本書を提供するを得たるは最も光榮とし且滿足する所なり（開發社發行）

發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

學生 縱と橫 主筆 大町桂月
■ルーズヴェルトの露營旅行 金子子爵
■田園の子弟に與ふ 本多[illegible]
■春と腦の病 [illegible]
■諸君が將來の方向 [illegible]
▲諸君が必勝者たるべき入學試驗準備 [illegible]
三月號 [illegible] 東京 富山房

朝鮮彙報 大正五年三月一日（定價三十五錢 郵税二錢五厘）
主要目次
○口繪 京城郵便局の内部 忠北伊院坪堤改良組合檢査場及忠南大田久納氏の分與せる農地 扶餘の勝地
○各道第一部長に對する寺内總督訓示
○朝鮮の給水問題 神保理學博士
○英國通信事業の概況（上） 矢野遞信事務官
○朝鮮寺刹の研究 高橋總督府囑託
○面經費に關する調査○篤行者事績○面收納事務監督狀況○農作物優良品種普及並栽培成績○テウセンカラマツ播種床日覆有無試驗成績○土木工事概況○一月中の鐵道運輸
○小學校及普通學校の教育上特に注意すべき事項 關屋學務局長
○農業學校の經營法○警察機關と面積並人口の步合○歲末に於ける豫防警察の效果○京城の外廓○金剛山に產するホヒチズコに關する研究豫報○外國宣教師の見たる朝鮮○二羅馬尼の家產制度○地方通信○雜報○質疑應答○敍任及辭令○統計
○朝鮮語の研究 新庄通譯官
○法令及通牒○民刑事判決例
○投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
○販賣店 東京神田崇松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
○廣告料 一頁十圓
取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

二日朝刊（夕刊と併せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話 編輯用 [illegible] 營業用 [illegible] 振替貯金口座 京城[illegible]

◎北京政府和意あり

北京政府は雲南軍との間に安協せんとの意志あり現に梁士詒の如きは段旗瑞を説きて調停の勞を執らしめんと運動しつつあり(北京特電)

◎代行立法院の閉會

代行立法院は二月二十九日閉會式を擧行し徐務卿陸徵祥出席總統より閉會の指令を宣讀せり久しく帝政派の傀儡たりし同院も此處に終りを告げたり(北京特電)

◎樞密院會議

一日は樞密院會議定例日に付き芳川副議長以下各顧問官は午前十時より宮中西溜の間に參集政府側より大隈首相一木内相石井外相列席書記官補特別任用に關する件其他一件の諮詢案を審議し終つて石井外相より昨年來懸案中なりし單獨不講和加入條約不講和の手續上遺憾の點ありし旨を陳謝し大隈首相よりも同樣の挨拶あり午前十一時二十分散會せり(東京特電)

◎同志代議士會

同志會にては二月二十九日午後五時より帝國ホテルに於て代議士會を開き河野武富若槻の各大臣を始め院内議員以下百四十名出席し松田一郎氏會長席に着き片岡直温氏より保險案討議當日缺席せる事に就き謝罪的挨拶あり次で坂口仁一郎氏より酒造稅納期繰下建議案討議の際臨機撤斷的處置を爲したることを謝し更に岡崎久次郎氏より關稅定率改正案討議に際し黨議に反くの行動を取りし事を謝し滿場異議なく之を容れたる後黑須龍太郎氏より齋藤隆夫氏の復黨勸告鈴木虎彦氏より鈴木萬次郎氏の復黨勸告を總務よりせられたしとの希望あり次で安達總務より黨務の現狀を報告し終つて加藤總理より今期議會に於ける重要問題たる妥協問題鐵道政策還元問題日支滿洲銀行法案等に關し同志會の政策と一致せる旨を敷衍し最後に多數黨の弊に陷り政友會の二の舞を踏まざる樣深く戒愼せられん事を望むと述べ總理の發聲にて聖壽の萬歲を三唱し九時散會せり(東京電報)

◎奉賛會へ御下賜

天皇皇后兩陛下には一日明治神宮奉賛會事業補助費として金卅萬圓御下賜の御沙汰ありたり(東京特電)

◎下旬貿易状況

二月下旬の對外貿易は輸出二千百七十九萬七千圓輸入一千九百二十九萬八千圓差引二百四十九萬九千圓の輸出超過にして輸出は屑絲、絹絲、羽二重、製帽用眞田、燐寸、米、精糖等增加せるも生絲は著しく減少せり輸入は主として綿糸羊毛の增加に基き八分の增加を示せり(東京特電)

◎討伐後援軍

南方の未だ歸事あらざる諸省の軍隊中央政府の裁定せざる所に從ひ辨理し……所の統轄に歸せしむる樣……頂……

◎總督府官吏任命

一日左の如く任命ありたり(東京特電)

任朝鮮總督府道慈惠醫院醫官(六等) 陸軍一等軍醫 蝶名林德臣
任朝鮮總督府中央試驗所技師兼工業傳習所技師(七等) 古城鴻一
任朝鮮總督府判事 朝鮮總督府檢事(六等) 權泰銓
任朝鮮總督府判事(八等) 朝鮮總督府裁判所通譯生兼書記 韓圀鎬

◎鑛業界の福音 吉川式精煉法の成功

吉川技師の發明に係る吉川式金鑛石精煉法は昨秋の共進會に出陳せられ其後鑛業家の注意を喚起したれば吉川氏に諸種の問ひ合はせをなし來る者尠なからず然も未だ一人の實驗者を出さざりしが平壤松井民治郎氏は其の經營に係る平南順安郡順安面の鑛山に一月以來殆んど試驗的の態にて吉川式精煉法を研究實行中の所前後五回失敗を重ねて遂に最近相當の成果を收めたる由聞く所によれば同式精煉法は水銀を用ゆる代りに木炭を使用し鑛石百貫に對し十五貫乃至二十貫を要するも經費の點に於て水銀よりも安く而して水銀にては鑛石含金量の七割乃至八割より採り得られざれど吉川式によれば九割六七分を收め得べしとの事に付一度同式精煉法世に擴まらば含金量五百萬分の六七位迄の鑛石は採掘して決して採算困難ならざるべしと(平壤)

◎牛舍肥料利用

慶尙北道にては各牛舍中の土糞を深さ五寸程掘取り是を肥料に利用せんとて著々調査を進めつゝありしが今回調査の結果を聞くに一牛舍の土糞より約四百貫匁の肥料を得らる可く今慶北管內に十五萬頭の畜牛あれば六千萬貫の土糞肥料を得らる可く是を百貫匁八十錢に換算すれば實に四十八萬圓の收益ある筈なれば野頭軍威郡に之を實行せしめたるに成績頗る良好にして漸次各郡に實行せしむる筈なりと

◎江原道鰊大漁

江原道通川郡沿岸に於て鰊稀有の豐漁あり去る十一、十二の兩日は輸出面庫底里に於て鰊二十二萬八千餘尾時價三千圓の漁獲ありし爲めに朝鮮郵船會社元山出張所より元山雄基間航海汽船穩城丸を十二日臨時航海せしめ生鰊五百六十二俵(約十六萬尾)を元山大正商會に輸送せり其他下り關行大豆百叺干鰮百俵も同船に搭載せりと同地より生魚輸送の爲め汽船にて臨時航行せしは之を以て嚆矢と爲すと尚又二月一日以降に於ける漁獲高を聞くに通川郡臨南里長箭里十三萬四千餘尾同郡順嶺面庫底里二十四萬四千餘尾同郡碧三面鶴龍里及び慈山里七萬六千餘尾合計四十五萬四千餘尾なりと

◎平壤栗と關稅(低減)

移入稅改正案通過の結果朝鮮產生栗核子に關する移入稅の改正低減案兩院を通過したる事は本紙特電の如きが該案の通過により平壤附近の名產栗の受くる利益は莫大のものなり從來は從量稅にて百斤に付七圓八十錢てふ殆んど移入禁止に均しき重稅を課せられゐたる爲め關稅は栗の原價を超ゆるの觀あり乃ち百斤は約四斗なれば一升に付十九錢の關稅なるに原價は一升十五錢內外なりき故に平壤栗を內地に仕向くる時は一升に付前記三十四錢の外運賃及び商人の手數料を加へ約五十錢を下らざる商値たりしなり然るに今回の改正により從價三割の課稅となりたれば一升に付五錢內外なるべく結局約十四錢の減稅となり形なれば今秋より品質優良にして聲價ある平壤栗は盛んに內地に移出せられ價格亦騰るべし尚往年平壤栗の年產額は目下一萬石十四五萬圓にして年々當局に於て植栽を奬勵しつゝあるに付非常の勢ひを以て栗林增加し居れり(平壤)

◎東拓と資金貸付 積極的貸附方針

東洋拓殖會社法改正案が今期議會を通過する能はざりし爲め同社金融部にては資金融通を手控ふるに至るべしと傳ふる者あるも右は全く誤傳にして責任ある會社當局より確聞する所によれば改正法案の議會を通過せざりし事により同社の貸付業務は毫も影響を蒙むるものにあらず今日と雖も資金は充分に保有せられ又貸付資金の盡きたる場合に對しては昨年村田理事が內地に出張の際既に協議を整へ

必要なる資金額は何時にても內地關係方面より仰ぐの準備成り居るを以て會社は今後水利組合學校組合等の公共團體のみならず更に普通の不動產擔保貸付についても債務者の便宜を計りと云へば前記の如き懸念は毫も之れ無しと云ひ何れかに聞くところによれば此頃數多の水利組合に對する貸付の內約も成立せし趣なり

◎二月中旬客車成績

二月中旬分旅客乘車人員十二萬五千八百四十六人にして前年同旬に比し九千六百〇四人即ち八分三厘客車收入九萬二千〇六十五圓にして同樣六千百八十七圓即ち七分二厘の孰れも增加を示したり本月は例年輸送の閑散なる時季にして特に本旬は舊正月に屬し一般鮮人旅行者例月に比し多からず元旦以來交通不振の情勢を持續せしを以て前月各旬の如く前年に對し孰れも一割以上の增加を得たるが如き活躍したる數字を示す能はざりしと雖も前記の如き增加を得たるは勿論良好なる成績なりと云ふ事を妨げず是れ前年同旬が其十四日の舊曆元旦に相當せし爲め輸送上數日の打擊を蒙むりたると寒氣烈しくして輸送力を萎縮せしめたる事からざりしに由る者とす其他特記す可きは內地連帶旅客出入の盛況にして概數二千八百十餘人に及び前年同旬に對し四百人弱の增加にして特に其內朝鮮發の多數を占めたり是れ蓋し氣候温暖なると內外經濟界の好況なるに因るものなる可く而して本旬分成績の良好なるを得たる一因亦茲に存すと謂ふ可し尚團體旅客の輸送は季節柄甚だ振はず前年同旬の二百卅二人に對し僅かに九十三人の乘車ありしに過ぎず手荷物輸送總數量は廿五萬九千百〇七斤にして前年同旬より少き事九千二百七十七斤即ち三分五厘の減少とす是れ主要輸送品たる小荷物扱鮮魚類の減少に依るものにして

▲本旬分 十四萬〇三百七十七斤
▲前年同旬分 十五萬三千九百七十七斤

即ち一萬三千六百斤減を示し主として釜山の出荷不振なりしに因る

◎京畿蔬菜栽培狀況

大正四年度に於ける京畿道管內に栽培せる蔬菜の作付反別及び收穫狀況を聞くに甘藷二千九百九十九反馬鈴薯三千七百十九反蘿蔔四萬六千六百十六反白菜三萬零七十七反甜瓜一萬八千五百八十三反にして之れが收穫高を見るに甘藷八十萬零三千四百三十三貫馬鈴薯百十一萬八千四百十三貫蘿蔔二千五百六十六萬二千六百四十四貫白菜一千七百四十六萬二千三百五十九貫甜瓜七百五十五萬千七百三十四貫なりと之を前年に對照するに各作物共其作付反別及び收穫高に於て著しき增加を來せり其の主なる理由は作付反別の增加は土地調査の結果耕地面積確立に依り從來換算面積に誤算ありたるに依る收穫の增加は作付反別の增加及び前年より作物好良なりしためなり

◎赤十字第廿四回總會

日本赤十字社第二十四回通常總會は來る五月中旬東京日比谷公園に於て開催す可しと

◎米の群山(十三) 中島生

朝鮮第一の米(三)

群山輸移出米の激增について他の一面に於ける重要なる原因とは即ち第一に品質の向上である、第二に生產の激增である、第三に群山米殼商の努力である。此の三者は特に記さざるを得ない重要の事項である。米の群山を紹介するに當りて、群山開港後暫らくの間即ち明治四十三年頃に在りては群山米の全部は在來種であつて改良種の農場米と云つては極めて寥々たるもので、加ふるに精米は玄米の一割にも足らぬ小量にて、大部分を占むる玄米とても乾燥は惡く、夾雜物は多く、寒暖には忽ち變質する底の粗惡米であつた故に、群山米と云へば大阪市場などでは鮮米中の最劣等品を以て遇せられて居つた。然るに其後內地人營農者の米作上の成功、鮮人間に高千穗早神力等の改良種の普及、水利灌漑事業の實施、四十三四年來群山に動力精米事業の發達、米殼調製法の一般的進步等の事實が相依り相扶けて群山米の品質を年々著しく高め、同時に其生產額も頗る增加し、一昨年には東京大阪兩市場に於ける群山米の價位は朝鮮米中の最上位に上り、釜山馬山方面の產米よりは一、二十錢、木浦米よりは約四十錢、仁川米鎭南浦米よりは約六十錢の高値を付けられ、其聲價到處に嘖々たるに至つた。實際最近の群山米は數年前に比すれば非常の向上であつて、砂石其他の混ずることも殆ど絕え、乾燥も行届いて變質の憂も少くなり、輸移出全量の四割方は改良種となり、其の優良なるは攝津中米と肩を比べて遜色を見ない。斯樣にして群山米の信用は內地で大したものとなつた。其信用あるは啻に其の品質の優れるが爲めのみでなく產額の多く、貯藏力の多くして不時の大需用に應じ得る事も亦有力なる因をなして居る。されば群山米は數年來定米市場に於ける渡米に需要せられ、今や群山米は隱然堂島深川の米相場を左右するの力を持つに至つた。之を思へば群山の當業者諸君は俯仰今昔の感に堪へぬものがあらう

◎滿鐵本年土木

……關する土木事業の外見るべきものなく沿線にて撫原の水道設備の一部……

百二十七圓將移入十萬七千二百四十圓の輸移……間島よりの積戾品……通過……輸出一萬九千……

女學校に於ける本年度入學……五十名三年生若干名なる……十五日……

◎滿洲戰蹟建碑選定

滿洲戰蹟保存會にては關東州外建碑箇所に付査定委員會に於て愼て評議中なりしが今回左表の通り二十二個所を選定したり(大連)

全滿役記念碑 奉天滿鐵病院前の廣場中央
滿洲軍總司令部之蹟 東煙臺(道路の側にして滿洲軍司令部と宿舍との中間)
日露役休戰訂約蹟 ……
滿洲軍最終陣地 ……
鴨綠江戰蹟 九連城東方……
[illegible]

◎優良なる倭館繩 慶尙北

道中に於ける繩叺製造に就いて近時倭館繩は著しく製造品質の點に於て進步し來りたるが當初は粗惡なる製繩なりしも郡當局の委託を受け大邱穀物組合は大正三年十月より地方生產繩の檢査を開始せし以來目下日本にも及ばざる優等品を製出するに至りたるが現時倭館繩の狀況を報ずれば長さ十七尋にして重量二百五十匁以上のものを以て合格とし然らざるものを不合格とし檢查濟品には商色粉を塗付し不合格品には黑粉を塗付し居れるが其の生產額は檢查開始以來三十三萬二千四百〇五把にして其價格三千二百五十三圓六十七錢を算し四年一月より十二月末迄に二十萬五千七百〇三把此の價格二千八百八十圓二十二錢にして需用地は主に倭館郡內なるも倭館繩は他にあり從つて金泉大邱方面より續々註文に接し居れりと

◎東拓移民學校狀況

東拓會社が移民の子弟を就學せしめつゝある現在學校數を聞くに京畿道十二校忠淸南道九校全羅北道十校全羅南道十五校慶尙北道五校慶尙南道十一校黃海道五校合計七十七校なるが右の內九校は昨年六月に於て增加せしものなりと

◎愛國婦人會有功章授與

公州在住金內植夫人は這回愛國夫人會基金中に一定の寄附ありたるに依り三等有功章を授與されたり

◎赤十字特別社員推薦

慶尙南道李銈敎氏は社業上の功勞篤志に依り這回日本赤十字社特別社員に推薦せられたり

◎水道鐵管敷設替

南大門二丁目共益社前より黃金町十字路に至る間道路中央の暗渠新設の爲め該道路に埋設せる十二吋配水管延長百間の敷設替へを行すべく……手し本月末竣功の豫定なり

◎警部以下異動

命平安北道警務部勤務……
補義州警察署長 ……
補中和警察署長 ……
補寧邊警察署長 ……
補舒川警察署長 ……
命全南警務部勤務 ……
命仁川警察署勤務 ……
命江原道警務部勤務 ……
命平壤警察署勤務 ……
[illegible]

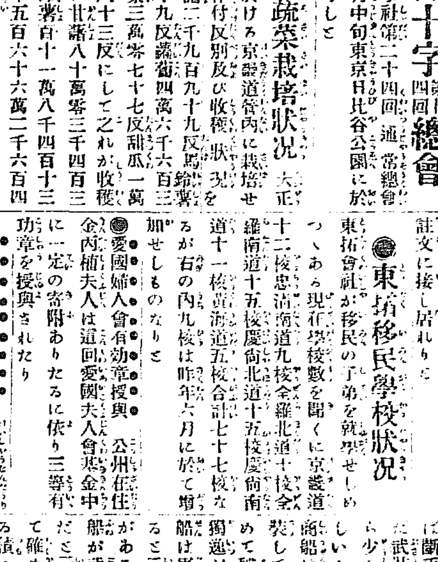
人事消息

▲宮川五郎三郎氏(平壤電氣會社長) 一日夕入京龍尾旅館へ
▲村田折氏(三井物產金剛山鐵道所長) 同上

▣南言北語▣

ウキルソン大統領が最早此の上交涉を重ねるの必要があり米國の名譽に關する事があれば斷手として國交斷絕をやるとカんだ武裝商船問題も▲何だか獨逸側から少々人を馬鹿にした回答が來たらしい▲手向ひもせず逃げ出しもせぬ商船は無警告では擊沈せぬ▲而し武裝して居るものは抵抗するものと認めて擊沈すると▲之れでは矢ッ張り獨逸が始めから主張して居る武裝商船は軍艦と認めて片ッ端から擊沈すると云ふと實際に於て何れ丈けの遣船があるか▲尙ほ潜航艇長が相手方の船が武裝して居るか否やを確めるのだと云つて居る▲海の底から何うして確めるのだらう浮き上つて調査する積りか知らぬが此奴は常になるまい▲其れに付けても米國は之を承知するのだらうか現に獨逸が中立各港に逃げ込んで居る自國軍艦に▲速に脫走して列國商船を擊沈せよと命令したのは米國に面當の樣にも見える▲米國が眞劍になつても相手は橫着なものだ▲三月一日から獨逸は商船擊沈運動を大ビラにやる相な全く海上の狂犬だ▲最後の一戰と云ふ事があるが獨逸の海陸の大活動は所謂死物狂ひの實際の最後の一戰かも知れぬ▲最後の一戰と云へば袁總統も早く最後の一戰を試みて去就を決するが好い▲近く愈々革命騷動も大袈裟となつて孫や岑や黃興等も飛び出すと云ふではないか▲要するに優柔不斷は今日の處大禁物だ▲と他人の疝氣を氣に病んで見ても討伐軍の兵隊さんは綿入の木綿軍服に支那鞋▲背に一本の傘を斜に負つてヨッチヨく進んで居て▲雨や雪の時には傘をさして行くなんて之れで戰爭が出來樣か▲但し肩書丈けは何師團とか何旅團とか立派に出來て居るから面白い▲北京政府の戰機將に熟すも當にならぬ譯す

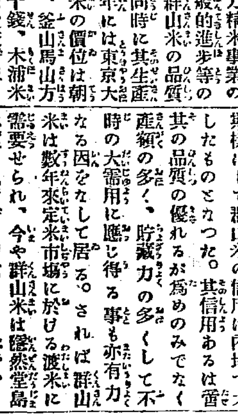
朝鮮及滿洲 三月號出づ 百四號
一部廿五錢郵稅一錢五厘 半ヶ年一圓五十錢 一ヶ年三圓 郵稅共
◎議會に東拓を一新す可し……釋尾旭邦
◎支那遊記……釋尾旭邦
◎如何にせば山は靑くなるか……
◎二角か才槌か……釋尾旭邦
▲東京生活の興趣……松崎天民
▲京城の謠曲界……今生
發行所 京城旭町二丁目 朝鮮雜誌社 電話一二五〇番 振替口座一三一



本書は朝鮮の地誌とも云ふべく故に朝鮮を旅行する人は眞に無上の好侶伴たらん
內容 本文武百餘頁 名所寫眞七十 二頁 沿線詳密地圖 拾壹葉 頗美
定價金七拾錢 郵稅六錢
賣捌 各驛 各書店

內科 小兒科
京城本町二丁目(瓦斯會社向側)
芙蓉醫院
醫學士 森定吉
電話二六二三番

拜啓小生義今般東京醫科大學附屬醫院を辭し今左記に住居致候間此段謹告仕候也
三月一日 本町二丁目 醫學士 森定吉
鄕友諸君

かならず
虫の好な毛織物に?
虫の恐る鍾馗印を


定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 碁石形 大罐金五十錢 小罐金十錢 各地藥店にあり
代理店 京城南大門通 新井藥房

…は援兵少からざる觀…府にては尙ほ兵力薄く…るに足らずとなし決議の結果征滇第…軍を組織して後援軍となす事とせ…事は既定の如くなるが其第二軍は…雲南の地形に…事に涉臨するは勿論…急に充て其軍費は軍隊を選出したる各該省之を負擔し一切の進行方面は…

◎東三省新官制（北京）

北京參事堂にて編成中の東三省新官制概要は奉天に總監略使、吉林、黑龍…使を新設し錦州、關門沿…境界及び間島に鎭守使を新設すべしと（極秘）

…事
各種の事業は大體に於て昨年と大差無き程度に止めたるを以て大連に於ては昨年の建築程度の改築工事等に…

◎淸津一月中貿易

淸津港一月中の貿易額は輸移出に於て…萬一千三百二十一圓…輸移入に於て一萬九千二百五圓の減…出來高 六千二百石…なしき不振を極めたり（淸津）

◎平壤高女生徒募集（平壤公立高等女學校）

◎鞍を片敷く旅枕

國境に働く支那馬夫の驚く可き生活

亞弗利加のゴビの大砂漠を駱駝の脊に依て行商する黑人の一隊と略同樣の生活をして居る者は滿鐵沿線又は間島地方に根據を構へて居る支那馬車の一隊であらう、彼等は殆んど支那全般に亙つて鐵道の通じない交通機關の不備な所に於ける唯一の交通機關で支那奥地から出る多くの物資は大部分此支那馬車が搬出し來るものである彼等の中には有力な何等團體としての盟約はないけれども餘陣地

■唯一の運輸機關 であるからして即ち相當の勢力を有して居る堂々たる滿洲の交通機關を一手に掌握した滿鐵會社が此團結もなければ一定の秩序もない支那馬車の一隊と運賃の競爭をして不急の物資の運搬なれば殆んど滿鐵の半額位迄引下げて搬出を請負ひために會社も大に一コマされること屢次なりとは噂の樣な實話で多少滑稽の氣味がある

■朝鮮人保護 滿鐵沿線のことは姑く措き咸鏡北道の淸津を中心とした間島又は琿春地方との所謂國境貿易は此支那馬車の一隊に依つて行はれて居る國境貿易の通路である淸會線の

■輕便手押臺車（鐵道工事に用ふるトロと稱するもの）に依つて運搬されるのもあるが運賃と積載量との打算から見れば支那馬車が遙に便利であるために商人は支那馬車を歡迎する從つて輕便鐵道又は牛車を以てする朝鮮人に取つては支那馬車は恐る可き敵手に相違ない從來支那馬車は結氷期になると三十臺四十臺と隊をなして淸津會寧間五十八哩の間を二日位で行つて來たものだが前にも記した如く

■運賃と積載量 と兩樣の利益があるために淸津會寧の商人も自然支那馬車を利用することゝなりそれと共に朝鮮人に失職者を生ずる樣になつたそこで吾官憲では朝鮮人保護のために國境の監視所で支那馬車の入國數を一箇月三十臺に制限して終つた

■鈴の音

支那馬車とは極めて舊式な四輪車で入國制限前迄は一車大抵六頭位の馱馬に牽せて居つたが今は一車三頭と定まつて居るそれでも一車に四斗俵二十二三俵の積載力を有つて居り

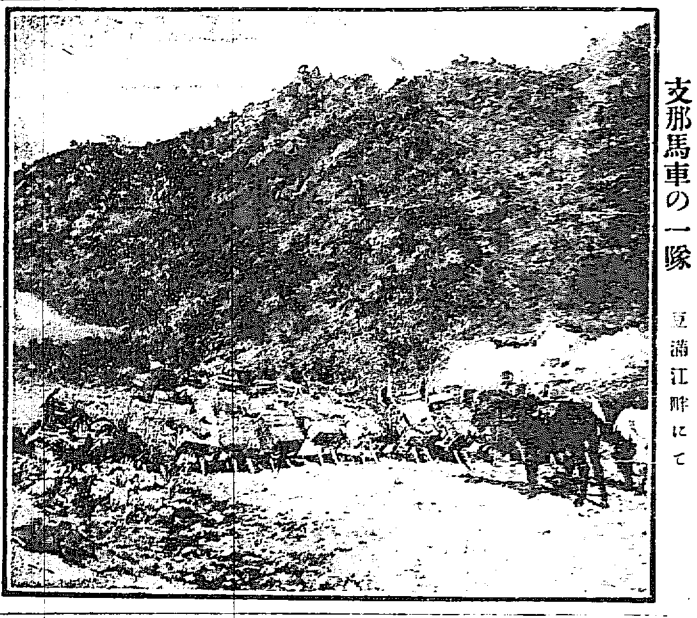
■輕鐵又は牛車の 二倍或は二倍半位の力がある、面白いのは此支那馬車は一月の生活であ入國三十臺と制限はされて居ても矢張四十臺や五十臺の車は出入するが馱馬は日本馬などゝ違つて從順であるから三十臺の馬車之れを馬の頭數から數ふれば一車三頭で九十頭の馬を馭するに三人か四人位の苦力が附いて居れば充分に仕事が出來る

■一番先の馬に鈴 を付けてこれを的に一隊の行路を進める夜だからと云つて眠たくなる所迄は眞暗な山の中を先頭の馬の鈴の音を唯一の羅針盤として進む程に勤勉だ

■金の爲の命 朝鮮人と支那人とを勞力の點から較べて見れば朝鮮人は劣つて居る只だ勞働者として從順な所が勝れた位であらう併し支那人は金の爲とあれば縱令火の中

■水の中でも 働くそして體力が強いからして鮮人勞働者のために生存競爭の敵手である支那馬車の苦力なるは金のためとあらば何日寢なくとも勞働を續け得る丈の體力があるだからして淸津會寧間の荷物運搬をして居る時でも家の內に寢る樣なことは皆無で夜間步行を續けて眠くなつた所を暫し一夜の宿として露營する其時には馱馬に付けた鞍を外して馬は其邊に放牧し

■鞍具を地上 に据え地上には僅かに莚位を敷いて寢に就く即ち馬も人間も略同樣な生活？である昨年など零下三十五度又は四十二三度の激寒に眞黑く凍傷にかゝつて死んだと云ふ支那人も大方は此種の苦力だと云ふことだそれで居て懷中には少なくも四五十圓位の現金を持つて居ない者はない彼等が此樣に死ぬる所迄賃金のために働く所は猶太人以上だと云はれて居る。



支那馬車の一隊 豆滿江畔にて

◎雪の金剛、馬蹄に蹴て

軍馬街上より墜落＝一隊の意氣軒昻（承前）

多の金剛、たとへ雪深くとも風強くとも、吾には日頭鍛へし腕に馬あり一蹴して過ぎむものと

▽衝天の意氣 で溫井里を出發するときは灰色に曇つた空に太陽こそ見えね、雪は全く歇んで之れなら大丈夫と思つてゐたが萬物相に向つて十丁も行くと踏み固めた細い道を步てる馬が時々路端の四尺五尺と

▽積つた雪の 中に片足づゝ踏み入れる、その度に軀の中心を失つて橫に傾くので馬は遂に道の眞中を步かぬ樣になつた、眞中さへ行けば樂に步けるのだが動もすると深みへ足を踏み込むので馬は殆んど氣狂の樣になつて言ふことを聞かない始めのうちは

▽十間行つて は休み二十間行つては休む樣にしてゐたが遂には三尺四尺とある雪の中を腹までつけて進んでゆく、峠に近づくに從つて雪は益々深くなつて馬の息づかひも烈しくなつて來たので一間行つては休み一間半行つては憩ふ樣にしたがそれでも馬の眼の色は變つて來た

▽脈搏も大分 高くなり益々狂はしくなつて尻を叩くと二三步位づゝ束に飛んでは人に飛び覓つて來て危險を感じ出したので足の氷上鐵を外す事にしたが、何しろ一間に近い積雪には人も馬も素敵に骨が折れたがそれでも此處まで來たものを引返すも殘念と行進を續け漸く

▽峠に達した があと十丁程行けば部落があると思うて安心してゐると道の端に木のないところがあつたと見えて先頭にゐた馬が足を踏み外したと思ふ間もなく四丈餘もあらうと思はれる谷底に墜ちてしまつた、これには一同慄いて立ち止まつたが可愛相に馬は尻尾の毛と

▽首丈出して 軀は雪の中に埋まつて悲しげに藻掻いてゐる樣だ、しかし此の雪の中でどうする事も出來ず愚圖々々すればあとに續く馬が皆落ち込んでしまう、そこで已むを得ずその馬は見捨てるつもりで他の馬の鞍を外して漸く峠を降り部落の人を賴んで

▽谷底に道を つけて貰ひ行つて見ると大きな木の倒れたその上に懸つてゐたので早速救ひ出したが幸ひ雪が深かつたために怪我が無かつたのは何よりだつた、此の行程は僅かに二里半だつたのに六時間以上を費した位で實に

▽困難を極め たのであつたがそれでも却つて首尾よく困難にも打克ち挺進騎兵の行動研究上得るところが尠くなかつた事は幸ひだつた、此のため行軍日程は豫定より一日遅れたけれども

▽その後人馬 に故障なく江原道の峻坂難路を踏破して龍山に歸着したのであつた

◎若草町の大火

燒失家屋九十戸＝火元は若草町の酒商荒木方＝原因は取調中＝負傷者一名＝行衛不明四名＝損害約五萬圓＝

一日午後十一時十分頃京城若草町五十二番地酒商荒木勇次郎方より發火し燒失家屋九十戸に及び京城に於て近來稀なる大火ありたり

發火と知るや黃金町、南山町、南大門等の各常備消防詰所を初め警務部よりは小熊警部以下及び其他鍾路、德壽宮、東大門、昌德宮等の各常備消防詰所並に京城義勇消防組等全部龍山消防隊よりも漸次

▲現場に出動 して鎭火に努め一方本町警察署にては宮部署長初め署員全部出動鍾路署よりも署員出張して應援に努め罹災者の救助及警護に努めたるが此夜西北の

▲風強く 吹き荒みて火焰の猛り立て必死に活動する消防隊も一時はもて餘す程にて妖魔の火焔は次第々々と

▲屋並を舐め 盡さんとする勢にて肌を劈くが如き寒天に時折沖する黑烟と紅蓮の火焰物凄く附近の雜沓一方ならざる有樣にて何れもあれよあれよと鎭火を待詫び居れる間に火の手は漸次擴大して若草町より本町三丁目に延燒したるが何分出火の附近は小家屋櫛比して足場の寄り付き不便なると上消火水道栓も附近に少く爲めに遠距離なる四箇所よりホースを引伸はすに困難を感じたるが各消防隊の働きに依りて遂に翌二日午前一時十五分を以て鎭火したり燒失棟數三十二棟にて此の戸數八十五戸

▲損害見積額 家屋消失約二萬圓、同家財約三萬圓の見込なりと尙此混雜中行衛不明となりたる女一名及び男兒三名ありたるが多分何れにか避難したるものゝ如く死傷にはあらざる見込みなりと如に六十歲位の病婦一名卒倒して一時氣絶せしも手當を加へたる爲め蘇生したり前記行衛不明中の男兒の中二名は火元荒木方の幼兒なりと因に燒失家屋は前記の外若干の空家ありて全部にて九十戸以上に達すべく發火の原因に就ては嚴重取調べ中なり（二日午前三時記）

◎板倉中の特赦 恩典

千葉縣選出代議士板倉中は選擧法違反として禁錮四箇月の刑を宣告されたるが一日特赦の恩典に浴し刑の執行を免れたり（東京特電）

◎白耳義總領事 丸髷會に感謝す

丸髷會主催の白耳義同情慈善演劇會は大成功にてその總收入額より必要なる經費を差引きたる殘餘金七百三圓五錢を京城府尹の手を經て寄贈したるに之れに對し白耳義總領事は一日午前府廳に出頭し主催者の厚意を感謝したる上早速本國慈善團に送付方を取計ふべき旨を述べ且つ府尹の手を經て主催者に對し感謝狀の傳達を依賴し欣然として引下りたり

◎纛島消防演習

京畿道高陽郡纛島消防組は一日同地巡査駐在所前の河原空地に於て消防點檢を擧行せり午前十一時組員全部參集這回新に組頭一名小頭二名消防手五十名の任命あり所轄高陽署長より人員及器具の點檢あり次いで假設小屋を構へて消火の實地演習をなし終つて署長の講評並に訓示高陽郡守の訓示並に警務部消防主任小熊警部の訓示等ありて散會せしが同日は纛島未曾有の盛況を呈し內鮮人多數の參觀者多數なりし因みに同地は掘井戸少く給水頗る不便なるより消防に就ては已むなく漢江の流水を一度引揚げ置きて平常時水し萬一の場合は右の用水を使用する消防方法を講じ居れりと

◎賴母子講の紛紜

平安南道鎭南浦府億兩機里松岡平治方阿部銀次郎は（四八）大正三年四月中碑石里濱口兵助發起の七圓掛十四口の賴母子講に加入して三回目に落札し自己所有の帆船一隻を擔保として書入れ置きながら該船を金二百圓にて前記松岡に賣渡し講金の拂込を爲したるより講總代龍井町正田介次郎より詐欺の告訴を受けたり

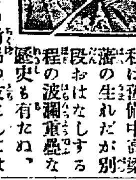
若い時分

春になりました。學校の入學式も卒業式も近づいて來ました。その新らしく學校を出で、新らしく學校に入る少年少女諸君、及び其父たり母たり兄たり姉たる方々のために諸名士の『若い時分』のお話を伺つて見ました。

□基督教迫害

＝司法部長官 國分三亥氏＝

有名な西薇山先生 石原次官有松翰長



私は舊備中高梁藩の生れだが別段おはなしする程の波瀾重疊な經歷も有たぬ、小學校時代からの竹馬の友としては古川鑛業會社の理事井上公二君位のものだが、それでも明治十四五年頃

◆岡山中學校に居た 時代を追懷すると現宮內次官の石原健三君や樞密院書記官長の有松英義君などの同窓が居つたので今でもあの時分の事を想ふと一番樂しい思ひ出が湧く、併し私等の靑年時代といふものは今の若い人達と比べると

◆丸きり隔世の感が ある、當時私などが勉強して居た頃は、むかしの武藝ばかりを尙むで諸書生をば靑表紙と罵すむだ時代の反動として一般に運動なども顧みる者もなかつた時代である、のみならず岡山縣からは有名な西薇山先生などが起つて國會開設の請願に飛び出し

◆到る處自由民權論 の盛んな時代であつたから私なども石原や有松などゝ共に毎週二回位政談演説などをやつたものである、中には『立憲政體の可否如何』といふ樣な問題から大討論會が始まると云ふ有樣で學校でもそれを平氣で許して居つた時代であつた、それからモ一つ生意氣な事をやつたのは當時金森通倫氏が基督教の布教に來たのを迫害して小僧の癖に盛んに

◆基督教撲滅論など を演説したものである、併し岡山縣の基督教は一時非常な迫害を受けた反動として現今では深い根柢ある基礎を作つた、——かくて私は岡山中學を中途で廢めて上京したのであるが現總督附武官森少將なども當時岡山中學に居つたといふことだ

◎糸島會誌配付 東京糸島會に於て本年一月發行の雜誌第十五號滿鮮在住者配付用として送り來り居るにつき實費（郵送料共）三十錢を添へ京城旭町一丁目官舍西猛美氏宛申越されたしと

◎錦崎流琵琶教授 錦崎賢定師の門下なりし留谷觀香子は今回龍山元町に教授所を開く

◎薰風會接心 三月一日より曹洞宗大本山別院內の同會にては毎夜午後七時半より參禪接心に高田老師の學道用心集提唱ある筈

◎札幌ビールの名譽 東京赤坂表町四丁目植村澄三郎氏は廿五日綬褒章を授けられ其功勞を表彰されたるが氏は夙に心を國産の發達に致し明治二十七年札幌ビール會社取締役に擧げられ大日本麥酒株式會社の成立と同時に同社長となり遂に海外輸出をなすの盛況を見るに至り洵に實業家の模範たるに依り今回此光榮に浴したるなりと

金牌受領 本椿香油 髮を黒く長くつやを出しきら〳〵として髮の…を防ぐ妙

謹近火御見舞 京城本町三丁目 山本富之助商店

謹近火御見舞 本町三丁目 大山足袋商店

購買入札公告
一、鐵線類 一、式紙類 一、秋服類
希望者ハ昨日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年三月二日 朝鮮總督府遞信局

購買 精米 詳細ハ三月二日以降ノ朝鮮總督府官報ニアリ 龍山陸軍倉庫

生徒募集
入學出願期日 三月十七日マデ
入學試驗期日 三月十八日同十九日
其ノ他詳細ハ本月ノ朝鮮總督府官報ニ就キ承合ヘシ
京城專修學校

貸家
長谷川町五八番地所在煉瓦造二階家數棟あり、家賃八圓より五十五圓迄 同番地ゴルシャルキへ御申込を請ふ

新刊書御案內
圍碁中の定石 鈴木爲次郎 五〇
通俗草物語 久保田萬太郎 九五
短歌三百首 與謝野晶子 一〇〇
はやり唄と小唄 湯朝竹山人 八〇
詩集正義の兜 佐藤惣之助 六〇
山口金井スキー術 大日本新聞學會編 三〇
朝鮮名勝詩選 成島澹士 三〇
叢談 武俠 野名松陽 三〇
無駄なき生活 山脇房子 一〇
國語の話 大島正之助 七五
人生の裏面 村上浪六 一〇〇
踏（官立學校入學試驗問題）作文模範答案集 四八
進化原論 谷口…秀 一五
雄辯美辭と筆 樋口龍峽 一二〇
姉と妹の手紙 小野美智子 四五
女のおもて 靑柳有美 九五
名士の新婦 … 四五
新生活の創始 佐野袈裟美 八五
日常生活の化學 富永… 五〇
英雄風雲錄 石川… 五〇
民育要義 山崎延吉 五〇
エムデンの奮戰 宮… 七五
新譯碧巖錄 峰谷… 一〇〇
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城一一五七

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に… 京城日報社 寫眞製版部

京日案內
普通（一回同金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増）
本町四丁目大東湯入 蘭芥定席 初心者には親切教授す 林 憲治 554
醫士卅餘歲滿鮮地方に於て病院勤務又は囑託開業を望む 愛知縣知多郡龜崎衣浦病院 福岡順良 545
自動車運轉手養成 採用都會に海外に雄飛せよ急申込 東京々橋南紺屋町▲發動機協會 544
國語漢語論理算術作文地歷數授 午前九時至午後四時▲夜學自七時至十時 明治町一の五 三文學研究會 546
事務員 年齡卅ヶ歲官署に十數年勤續身元確實の者給料多少に不拘會社又は商店に就職いたし（姓名在社） 532
勿見落 定價の三分一で新刊雜誌が其月に讀る廻讀會 松井松榮堂 京城本町一の四九 電話一三七八 529
福引大景品付代價表進呈 北海道札幌區農科大學正門前 札幌農園 367

看護婦募集 希望の者は履歷書を添へ來談あれ 仁川新町 小倉病院
日利業務男女外交員募集 東京明治會新聞發行所朝鮮支局 京城古市町一四（電車通）電八五八
番外（一回金拾錢…）
結核 喉 の注射 古賀液 （入院隨意） 京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 549
電話二千五百九十五番 はねつき（うちみくじき）治療 548
朝治町交番ゥ東 フランス教會前 仁壽堂
節句用 櫻の葉新荷着 京城鋳崎町 島屋本店 電話二三三〇番 543
恩給年金退隱料長期立替多少を不問即時融通 今回地方代理店設置す照會あれ但恩給年金所有者に限る 京城永樂町一商品陳列館前 江州屋本店 540
朝鮮語科 新學期開始 三ヶ月修了 537
英語科 南大門通（漢城銀行向ひ）京城商業會
恩給年金類低利長期立換 短期不便な法あり其他擔保信用貸付 京城南大門外 成町 山口屋 539
春川 原州 忠州方面行 貨物運搬取扱元 牛車駄馬 龍山北米倉町 西村商會 出張所 電話二九〇二番 523
恩給年金類立替 ▲勸業貯蓄債券月賦販賣 京城本町二丁目五三 京城銀行横小路入 吉田屋 322
向貸家 京城吉野町一丁目 住宅 家賃月金武拾圓內外數戸あり入用の方は旭町一丁目小森材木店又は吉野町一丁目中野修造方へ 518
生ガキ特約販賣店 資子大募集 京城旭町二丁目（府廳東側） 上蝎御問屋 三友商會 電話三三六 321
ラムネ販賣人募集 希望者本人來談市內確實の保證人要 京城鍋崎町八番地 京城清凉社 530
社員招聘 高給外務員數名招聘す希望者は自筆の履歷書携帶本人來談▲京城黃金町二丁目一八一 橫濱生命保險株式會社朝鮮出張所 531
質商 ▲移轉廣告（元伊佐丁）弊店は秘密を守り親切丁寧を旨とし御客樣の便利を計り申候 櫻井町一丁目大正館北橫丁 黃金町と櫻井町角南入 東屋 382
恩給年金退隱料長期立替多少 短期は法定利息以內にて無手數立替 京城永樂町一商品陳列館前 江州屋本店 540
小兒科 內科 大和町一丁目（日の出橋下ル） 爲春堂醫院 院主 古城 一（電話九一八番） 547
公證人 京城永樂町一丁目十七番地 山邊勇輔 電話二〇八四番 550
皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館の上 電話二〇三番 551
質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話五三九番 552

千生瓢 (141)

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋(六)

近侍の前に進むを見て、秀吉は之に命じて言つた。

『先つ頃、敦賀表に於て、佐久間玄蕃允、柴田權六兩人を召し捕つて差出いた百姓等、急ぎ召し出すやう、彼地の地頭に申し遣せよ』

近侍が命を領して坐を立つ間もなく、又一人の近侍を呼び寄せた。

『山口勘兵衛岡田甚左衛門一人の中、誰にても出仕致すに於ては、急ぎ之に呼び出せ』

又更に一人の近侍を呼んで、

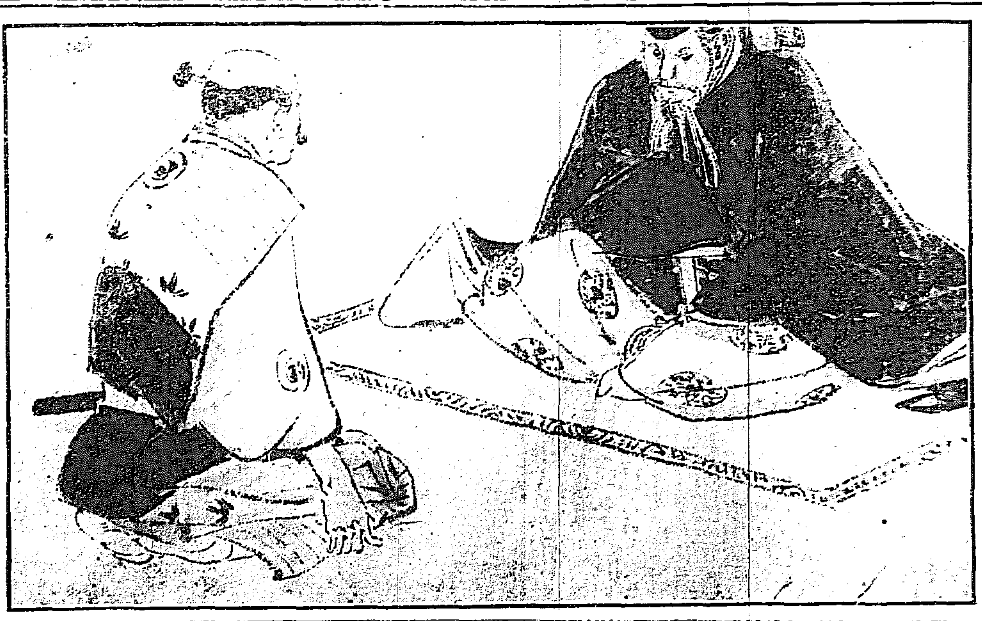
『其方是より蜂須賀彦右衛門が方に罷り向ひ、彦右衛門を同道致いて參れ』と申し付けた。

間もなく山口勘兵衛の、召に應じて出頭するのを見ると、

『やお勘兵衛、座を進みやれ。些と內談のあるぢや』と、手を擧げてさし招いだ。

勘兵衛は恐る／＼膝を進めて、

『岡田甚左衛門、今日は槇の島在番におざりまする。即ち勘兵衛一人罷り出まいておざる』と、言上する。



『大儀々々。其方を呼出す事、別儀でない、越前表に於て預け置いた生捕兩人、如何致いた』

『はッ。仰せに隨ひ、土民より受取りまいた後は、縲紲の縄目を宥し、沐浴を進め、衣袖を贈つて、十分の待遇を致いた上、丹州槇の島の城內に座敷を與へ、我等兩人交代にて守護致し居りまする』

勘兵衛は仔細を述べて、其氣色を覗つた。秀吉は滿面に笑みを含んで

『ようぞ致いた。待遇に就いて、兩人ともに不滿足の容子は見えぬか』

『憚りながら、玄蕃允は鬼と呼ばれた猛者、定めて我意の擧動あらうと存じた處、其作法以ての外に殿重におざりまする。三食にも給仕の者に一々挨拶せられ、我等罷出る節は、囚人の身に過分の御待遇、只顧痛み入る。御報を致すべきが道なれど、今日明日にも斬らるゝ身の、心底に任さぬが遺憾ぢやと申さるゝ。玄蕃允殿個樣なれば、況て權六殿の行儀の正しさ。眞の英雄豪傑と申す者は、身を持つ事の嚴しいこと、斯の如きものかと存じて、甚左衛門諸共、感に感じ入つておざりまする』

『さもあらう、彼は故大學殿が子ぢや。母は柴田修理が姉ぢや。孰らの血を受けても、織田殿執權の威風を備へて居る。何うぢや玄蕃允の功名話しを聞いたか』

『其事は度々所望致しますれど、いかに空腹とは申せ、いかに疲勞したとは申せ、土民の爲に追窘められて、やみ／＼と縄かけらるゝ程の、何の功名があらう。權六とても只一通りの別して若者の度數も被ます、何の面しの科もおざらぬとて、唯だ天うてばかり居られまする』

『其は嘸かし殘念であらう。勝家生害の事申し聞かした時、玄蕃の容子は何うあつた、な』

『聞き訖つて目を瞑つたまゝ、やゝ暫くして、申されたばかり、何事も申されませぬが、權六殿は親子の事、密かに落涙致されておざりまする』

秀吉は之に耳を傾けてゐたが、欣然たる色を示して、

『玄蕃允ほどの豪傑は、復と世に在るものではない。追て蜂須賀彦右衛門を遣すがよい。隨分勞はつて遣はして、彼等が鬱懷を慰めさゝうと存ずる。此のよし甚左衛門へも申し通じておくりやれ』と言ひ渡して、其のまゝ暇を遣はした。

山口勘兵衛が退座してのち、暫時の士に伴はれて、蜂須賀彦右衛門正勝は、近侍にして秀吉の面前に出で來たつた。

『彦右衛門召させられまいたは、火急の御用ども』

『おゝ待つて居つたわ、內談のある此れへ進みやれ』

秀吉は我が對座を指ざして、正勝に席を與へた。

『然らば免させられい』と正勝は與へられた座に就いて

『御內談何おざりまする、な』

『筑前名代として、使者に立つて貰ひたい』

『火急の御使者、何方へな』

彦右衛門は少しく首を傾けた。

山笑ふ　呈大塊翁(三)

山笑ふ茶屋の翁や人を待つ	可舟
山笑ふ麓の主や千鳥足	同人
山笑ふ麓の町邊に牛眠る	奇石
紅裙のころぶ姿や山笑ふ	同人
紀念樹のこりの時季や山笑ふ	秋光女
妹の顔丸々さしてわらふ山	同人
笑ふ山茶をのみながら眺めけり	秀峯
扶蘇山を訪へば友あり山笑ふ	同人
跡継す野山をつゝみて笑ふ山	多摩子
山笑ふよ霧野に多し歌ふ鳥	同人
山笑ひ野端の雀友を呼ぶ	黄岡
露さけて人の心や山笑ふ	同人
野火かこむ人さま／＼や山笑ふ	神村
昨日今日遊ぶ人あり山笑ふ	同人
牛の見の角寸にして山笑ふ	雨曾
君踊る其の日南山も笑ふべく	同人
山は笑ひ海は默して靜也	如村
笑ふ山移民の連れの荷も着きぬ	同人
句にあきて眠むたき雲や山笑ふ	同人
雨晴れて百里の野山笑ひけり	山王
牧童も牛も眠りて山笑ふ	同人
春來れば名もなき山も笑ふめり	文の舍
野の水はいまだ濁れど山笑ふ	同人
野斑またら／＼や山笑ふ	石香
打見れば柳つゝきに山笑ふ	有無
雨晴れて湖畔の山々笑ひけり	同人
山笑ひ牧[illegible]眠る日向哉	不辟
ちよんがあの樂ひ來るや山笑ふ	同人
燈籠の燃を前に山笑ふ	如風
町の山笑ふや化粧水を溶く	同人
登り坂花に拂ふ山笑ふ	吾川
獵人の一發又一發山笑ふ	同人
野の島の歌ふを聞けば山笑ふ	不思人
雨晴れて朝日出づれば山笑ふ	同人
ちよこまかと馬むちうつや山笑ふ	島兎
自動車や禿山笑ふ小牛田（扶蘇山）	同人
江南やお國自慢の山笑ふ	鳥兎

新刊紹介

▲馬關の風雲　大阪今延米穀時報増刊にして同區に於ける米穀取引に關する各種の記事を收む（十五錢大阪堂島濱一丁目今延米穀調査部）

▲趣味の友（一の三）　趣味本位の家庭讀物として比類少なし（二十錢東京市芝區南佐久間町一其社）

▲白耳義と歐羅巴戰亂　駐日白耳義國特命全權公使の著にして獨逸國たる同國を蹂躪せる獨逸の横暴及正義の爲め苦戰せる同國の慘狀を述べ而して同國の將來に論及せるもの（非賣品白耳義公使館）

▲女の世界（二の三）　主として女性に關する記事を録す（二十錢東京市麴町區平河町一實業之世界社）

▲新日本主義（一の三）　宗教に據る國家主義を標榜す（十錢五厘東京市牛込區矢來町其社）

▲劇藝（三月號）　本號には岩佐氏に關する記事を集録す（十八錢大阪市東區横堀町五其社）

▲新家庭（三月號）　季節物的の時錢消費に適にして記事亦多趣味（二十五錢東京市芝區公園地九號玄文社）

▲婦人週報（二の九）　五錢東京市牛込區市ケ谷田町二丁目其社

▲東華評論（一の八）　十錢北京東城錫米倉二六其社

▲舉農耐熱業案內（五年度）　東京市麻布本村學農社

▲保險新聞（六の四）　九錢東京市麴町區北保町其社

▲少女新聞生る　東京市麴町東京社にては全國少女の投稿作學窓餘暇の讀み物として毎月一回四六二倍版八頁の少女新聞を發行することゝなれり小さな割には賑やかに編輯も整ひ居れり希望者には實費一部郵稅共二錢五厘にて頒つべしと

讀者の領分

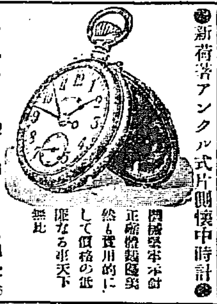
僕は一錢五厘も拂ひ、梅屋の棟梁額居に代りて近所から早く拂へ生へお答へ仕ましよう仰せの如く米の三合買ひではお近所へ對しても相濟まぬから手紙一本に大枚三十圓を投じて軍用彈除器に世界の專賣權を得ようとするのである君の處への借金を拂ふ時は分り切つた事ではないか其の專賣權を得て大に賣出してお蔭で戰死するものが一人もない樣になつて大に儲けて大富豪となつた曉の事である御心配には及ばぬ近所遠所の差別はない一度にざつと拂ふのだその時になつてビックリ氣絶せぬ樣に今から寶丹の用意が肝要ぢや（代録生）▲記者樣へ御尋ねします日報歌壇は誰でも出してよござんすの、もしよろしかつたらどんな風にして出しますか御知せ下さいまし讀者の領分へ（南枝）▲宜しいです本社日報歌壇宛に送つて下さい（係）▲二月中の仁川の火事を調べて見ると總計十四回となる丁度二日に一回あつた樣な勘定になるわい（物議先生）▲また二三日寒さが續くか今年許りは實に當にも何んにもなりやしないこれでは折角咲きかけた梅も凋れるだらう（風流居士）▲平北煕川郵便局にストライキがあつたとか云ふ話だ（集配人）

露國大トクボホン將軍原著　日口井包尚譯
滿蒙處分論
定價金一圓　郵稅不計
京城日報代理部　振替貯金京城三〇京

わきの下のくさき
わきが
今が治療の好時期　說明書無代進呈
宮田權之丞先生が多くの腋臭の中で一番能く効くことを說明せられた腋臭水は腋臭の病源である腋臭の皮脂腺に作用してわきがを治癒する効能すぐれて居ります故に現今の著中と違ひ汗の出るのも少なく作用も強く
東京藥院へ御申込なさい
東京藥院へ御申込なされ說明書を秘密に封書で送られます

皮膚病科
一般皮膚病花柳病
たむし◉いんきん◉しらくも◉ひぜん◉ほろせ◉みづむし◉がさ◉毛ぶけ◉その他一切◉梅毒◉横痃◉下疳◉淋病◉睾丸炎◉膀胱炎等並

らい病
理化學療法科
ラヂウム放射線科
癌腫◉肉腫◉筋腫◉瘰癧◉腹疝息肉
其他惡性腫瘍◉腹膜癒着◉神經痛
母斑◉梅毒◉梅毒性諸病◉肺結核
皮膚結核◉結核性諸病◉惡性皮膚病
診察時間毎日午前中　電話東四〇七九
大阪東區北久太郎町四丁目
院長小笠原大成
小笠原病院



新荷着アンクル式片側懷中時計
機械堅牢正確精巧優美にして價格の低廉なる事天下無比
（十九形より十二形までニッケル側、銀側、金鍍金側、金側等各種　價格一圓九十錢より百五十圓まで）[illegible]
右は今回新着の商品にて本商會獨り店に限り無きもの多し地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貿易直輸入商
イングレッシー商會
京城本町二丁目　電話九七二番

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

最上醬油
（キハク印）

醬油の撰擇を誤る時は年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

銀行會社員[illegible]講義錄

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店
電話一〇三九番　振替口座四三九番

內科小兒科
皮膚病花柳病
入院隨意
京城日出町
多々見醫院
院主　醫學得業士　多々見五郎
電話九四〇番

種と苗
春季說明附營業案內無代進呈
京釜線烏致院
朝鮮興農園
電話烏二七番　振替京城三三七番

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八二二番

醫化學器械一式

仁川本町
北島藥店
電話三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角
北島藥店京城支店
電話七六一番

藥種賣藥卸商

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢四厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町　電話四三〇番・五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

大日本優等清酒
ハクツル

品質純良
衛生無害
攝津灘御影町
釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地
發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

村上唯吉著
心機一轉
定價金二十錢　郵稅二錢
右內鮮文とも出版出來せり陸續御購讀願上候
京城日報代理部
申込所　京城古市町　孤松書院

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行	三河丸	三月廿一日	正午出帆
大連太沽行	相模丸	三月三日	正午出帆
	高砂丸	三月十二日	正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

木浦、釜山、門司、神戸、大阪行	宮島丸	三月九日	午後五時
	吉辰丸	三月五日	
	天草丸	三月十二日	午後出帆
木浦、釜山、長崎行	安東丸	三月九日	午後二時出帆
	城津丸	三月三日	
鎭南浦、大連行	安東丸	三月五日	午後二時出帆
	城津丸	三月十二日	
	チヨイサン丸	二月廿九日	正午
大連直行	瀋陽丸	三月五日	正午出帆
	福州丸	三月十日	
群山、釜山、濟南行	潮州丸	三月二日	午後四時出帆
	福州丸	三月十六日	
城津、清津行（元山出帆）	須磨丸	三月六日	午後二時出帆
	北磨丸	三月十八日	
上海、基隆、打狗行（大連出帆）	安平丸	三月十六日	午後四時出帆
	新高丸	三月廿四日	

仁川支店　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番
京城切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番